

## トイレ使用開始2年後 アンケート結果

実施日： 2001年7月12～31日  
 実施場所： 会員の各家庭  
 アンケート方法： 訪問聞き取り調査  
 対象者： トイレプロジェクト参加74家庭のうち乱数表を用いてランダムに抽出された37家庭に実施。  
 回答率： 100%(37人)

## 1. 新設トイレを使っていますか？（「いいえ」の人は裏のページに進んで下さい。）

はい 75.7%(28人)                      いいえ 13.5%(5人)

新設トイレと以前のトイレの両方使っている 10.8% (4人)

「両方使っている」「いいえ」と答えた人は、他にどのようなタイプのトイレを使用していますか？

水洗トイレ (2人) 天井がないタイプ (3人) 無回答 (4人)

質問1で「はい」と「両方使っている」と答えた人、計32人

## 1) 新設トイレについてどう思いますか？

快適でない 0%(0人)              快適である 75%(24人)              素晴らしい 25%(8人)

## 2) 以前のトイレはどの様にしましたか？

埋めた/蓋をした 75% (24人)

そのまま放置してある 25% (8人)

以前、トイレはなかった 0% (0人)

なぜ放置してあるのか？

- ・ 家族が多いので、以前のトイレも使用しているため。
- ・ 親戚が以前のトイレを使用しているため。
- ・ 現在は誰も使用していないが、埋める土がないため。
- ・ 以前のトイレがまだ使用できるので、2つのトイレを使用しているため。
- ・ 雨が降っていないときは、以前のトイレを使用するため。

## ①新設トイレを掃除していますか？

はい 100% (32人)              いいえ 0% (0人)

## ②どの様に掃除していますか？(複数回答)

ほうきで掃く 81.2% (26人)      ブラシで洗う 25% (8人)

便器の中に灰を入れる 12.5% (4人)      雑巾で拭く 6.3% (2人)

③何を使用して掃除していますか？（複数回答）

合成洗剤 34.3% (11人) 水 87.5% (28人) 塩素 12.5% (4人) 石鹼 21.9% (7人)

④1ヶ月に何回掃除をしますか？ 平均9.0回

1回 (6.2%) 2人 2回 (9.3%) 3人 4回 (21.9%) 7人 7回 (28.1%) 9人

8回 (3.1%) 1人 10回 (6.2%) 2人 12回 (3.1%) 1人

15回 (9.3%) 3人 16回 1人 (3.1%) 30回 (9.3%) 3人

\*きれいな水と洗濯に使用した水のどちらを掃除に使用していますか。

きれいな水 96.9%(31人) 洗濯水の再利用 3.1%(1人)

4) 新設トイレは臭いがしますか？

はい 9.4% (3人) いいえ 90.6%(29人)

5) 新設トイレにハエがたくさんいますか？

はい 6.2%(2人) いいえ 93.8%(30人)

6) トイレに蓋付きのゴミ箱を置いてありますか？

はい 9.4% (3人) いいえ 90.6%(29人)

7) どこで水浴びをしますか？

浴室 37.5%(12人) 新設トイレ 31.3%(10人) 別の場所 28.1%(9人)

蒸し風呂 3.1%(1人)

8) 家族内の下痢が減ったと思いますか？

はい 31.3% (10人)

→それはなぜですか？

・今の方が衛生的なため。・良いトイレのため。・トイレの掃除をしているため。

いいえ 68.7% (22人)

→それはなぜですか？ 以前から病気はしていないため

9) 新設トイレに対する意見を聞かせてください。(自由、複数回答)

- ・ 良いトイレである。 90.6% (29人)
- ・ トイレに蓋があり、ハエがいないため、以前よりとても衛生的である。 (5人)
- ・ 天井がついているため、雨の日でも使用出来る。 (3人)
- ・ 以前に比べ、子供達が安全に使用することが出来る。 (3人)
- ・ 以前に比べ、衛星的に保つことが出来る。 (3人)
- ・ 快適である。 (3人)
- ・ 改善されているし、役に立っている。 (2人)
- ・ 庭を汚さなくなった。 (1人)

- ・ 雨のときでも、水浴びが出来るようになった。(1人)
- ・ 以前に比べ、トイレが家の近くになった。(1人)
- ・ 少し狭い。(1人)

10) なぜ、現在2つのトイレを使用しているのですか？ 計4人

- ・ 家族が多いため。
- ・ 新設トイレが時々使用中であるため、その時は以前のトイレを利用している。

**質問1で「いいえ」と答えた人へ 計6人**

1) なぜ新設トイレを使用していないのですか？ (自由回答)

- ・ もう新設トイレの穴がいっぱいになってしまい、他のトイレを作ったため。(1人)
- ・ 新設トイレを作った場所に現在暮らしていないため。(1人)
- ・ 現在他のトイレを持っているため。(3人)

2) 平常、あなたの家族はどこで用を足していますか？ (自由回答)

- ・ 新しいトイレ。
- ・ 引越し先のトイレ。

**結果)**

現在、新設トイレを使用している人の割合は、以前のトイレと両方使っている人も含め86.5%であった。これは、トイレ使用開始1年後アンケート結果(以後1年後アンケート結果と記述する)の98.6%に比べると減少している[質問1より]。以前のトイレの処理方法は、大多数が、「埋めた、蓋をした」と答えているのに対し、8名の人が、「そのままにしている」と答えている。1年後アンケート結果でも同様に8名がそのままにしていると答えていた。この理由としては、「家族が多いので2つのトイレを使用している」という答えが多かった[質問1 1) 2)より]。

「掃除をしているか」という質問に対しては全員が「している」答えている。掃除方法としては、大体数が「ほうきで掃く、ブラシで洗う、洗剤、水を使う」と答えており、これは1年後アンケート結果とほぼ同じ結果であることがわかる。「1ヶ月に何回掃除をするか」という質問に対しては、平均9.0回という結果が出ており、1年後アンケート結果の5.3回を上回っている[質問1 2)より]。また「新設トイレに臭いがするか、ハエがいるか」という質問に対しては、90%以上の人が「いいえ」と答えており、これも1年後アンケート結果とほぼ同じ結果である[質問1 4) 5)より]。

「トイレに蓋付きのごみ箱を置いているか」という質問に対しては「はい」と答えた人が9.4%であった。これは1年後アンケート結果の55.4%を大きく下回っている[質問1 6)より]。

**考察)**

新設トイレ使用者の減少は、アンケート結果にある「引越したため」「他のトイレを持ったため(水洗トイレ)」という意見からわかるように、年月の流れによって環境が変わったためと思われる。2年間で、パツンの生活環境も大きく変化し自分達で新しいトイレを持てるようになってきたためではないか。

以前のトイレをそのままにしている8名に関しては、以前のトイレも衛生的に保て使用しているの

であれば問題ないと思われ、そのような指導を継続的に行っていく必要があると考える。

掃除に関する結果からは、2年前トイレ設置時の指導に基づいて、現在も掃除を行えていることがわかる。平均掃除回数が増えたのは、毎日掃除していた人が多かったためと思われ、このことから住民の保清に対する意識が向上していることが伺える。このように新設トイレは衛生が保たれていたため、臭いやハエに関する問題は、設置時と変わらずほとんど挙がらなかったのではないかとと思われる。

トイレに蓋付きのごみ箱を置いている家が減少したことに関しては、住民がなぜ蓋付きでなくてはいけないのかという理由を認識していなかったためと思われる。ほとんどの家庭には、ごみ箱は設置してあり頻回に処理していたため、トイレは衛生的に保たれていたが、トイレのごみ箱に蓋をする理由を再度説明する必要があると考える。

新設トイレに関する意見は、アンケート結果からもわかるように「快適である」と答えており、設置後2年経った今も、住民に大きく役立っていることがわかる。家族の下痢が減ったかという質問に関しては31.3%の人が「はい」と答えており、新設トイレ設置により疾病予防にもつながっているのではないかと考えられ、また疾病予防に関する住民の意識も高まっていると考えられる。それは、新設トイレに対する意見のなかで「とても衛生的である」「衛生的に保つことが出来る」と答えた人が多いことから見うけられる。これらの結果から新設トイレ設置プログラムを行ったことは有効であったのではないかとと思われる。これをもって2年間にわたるトイレプロジェクト訪問聞き取り調査、評価を終了とする。

## 改良かまど第1フェーズ使用開始2年後のアンケート結果

今回のアンケート調査は改良かまど第2フェーズ3ヶ月目評価、トイレ2年目評価も同時に行なつたため、全家庭の調査は不可能であると考え、全64件の内半分の32件を実施対象とした。

アンケート実施期間：2001年7月12日～31日  
 実施場所および方法：各家庭を訪問、聞き取り調査  
 対象者：第1フェーズ改良かまどを持っている64家庭のうち乱数表を用いてランダムに抽出された32家庭に実施。  
 回答率：100%

1. 改良かまどを使っていますか？  
 はい 93.7% (30人) いいえ 6.3% (2人：引越した。かまどの設置している部屋を寝室として使用中。)
2. 改良かまどはどうですか？  
 よい 93.7% (30人) 良くない 0% (0人) 無回答 6.3% (2人)
3. 改良かまどは使い易いですか？  
 はい 93.7% (30人) いいえ 0% (0人) 無回答 6.3% (2人)
4. 料理する時間は以前より減りましたか？  
 はい 90.6% (29人) 30分 46.9% (15人) 45分 3.1% (1人) 1時間 21.9% (7人)  
 1.5時間 9.4% (3人) 2時間 6.3% (2人) それ以上 3.1% (1人)  
 いいえ 3.1% (1人)  
 無回答 6.3% (2人)
5. それによって得た時間を何に使っていますか？（複数回答）  
 識字教室 0% (0人) 講習会に参加する 6.3% (2人：アクアラ協会の講習会)  
 ボランティア 6.3% (2人：アクアラ協会のボランティア)  
 家の仕事 25.0% (8人：洗濯。食器洗い。子供の世話。食事の用意。掃除。)  
 織物・刺繍 53.1% (17人) 休憩 0% (0人) 何もしない 0% (0人)  
 その他 25% (8人：山や畑に仕事に行く。商売をする)  
 無回答 6.3% (2人)
6. 節約された時間によって収入が増えましたか？  
 はい 75% (24人) ⇒その収入を何に使いたいですか？家族のための食料。必要物品。子供達のため (学費など)  
 いいえ 18.8% (6人)  
 無回答 6.3% (2人)
7. 改良かまどによって沸騰した飲み水を用意できていますか？  
 はい 93.8% (30人) いいえ 0% (0人) 無回答 6.3% (2人)
8. あなたの家庭で病気が減っていると思いますか？  
 はい 53.1% (17人：下痢・風邪・発熱・アメーバー・寄生虫・咳)  
 いいえ 40.6% (13人：以前から病気にかからない)  
 無回答 6.3% (2人)

9. 改良かまどによって、1ヶ月の薪の使用量は減りましたか？

はい 93.8% (30人)  
3/4に減少 12.5% (4人) 1/3に減少 9.4% (3人) 1/2に減少 50.0% (16人)  
2/3に減少 21.9% (7人)  
いいえ 0% (0人) 無回答 6.3% (2人)

10. 改良かまどによって、事故が減少できていると思いますか？

はい 65.6% (21人)  
(複数回答) 火傷 53.1% (17人) 目の痛み 56.3% (18人) 煙による呼吸困難 34.4% (11人)  
いいえ 28.1% (9人)  
無回答 6.3% (2人)

11. 改良かまどによって、衛生的に料理できていると思いますか？

はい 93.8% (30人) いいえ 0% (0人) 無回答 6.3% (2人)

12. 子供達を学校に行かせていますか？

はい 90.6% (29人)  
いいえ 3.1% (1人) (それはなぜですか？一人は学校に行きたがらず、もう一人は病気のため入院中)  
無回答 6.3% (2人)

13. 改良かまどについてどう思いますか？(複数・自由回答)

- ・良い。 93.8% (30人)
- ・一度に調理が可能のため、調理時間が早くなった。 28.1% (9人)
- ・時間が節約できるようになった。 3.1% (1人)
- ・一度に調理が可能になり、料理の種類が増えた。 3.1% (1人)
- ・助かっている。 6.3% (2人)
- ・生活向上につながっている。 9.4% (4人)
- ・清潔に調理できている。 21.9% (7人)
- ・灰が料理の中に入らないようになり、より清潔に調理できるようになった。 3.1% (1人)
- ・簡単に調理できるようになった。 6.3% (2人)
- ・薪の量が減りとても経済的である。 34.3% (11人)
- ・より安全に調理ができるようになった。 3.1% (1人)
- ・台所に煙が蔓延しなくなった。 15.6% (5人)
- ・無回答 6.3% (2人)

## 結果

今回の評価により、実際に改良かまどを使用しており、その性能を高く評価している家庭は全体の93.7%であった。(設問1. 2. 3より) 改良かまど設置により、一度にいくつかの調理が可能になったため調理時間が短縮され(以前は地面に直に薪を組み調理していた。)その短縮された時間を他の家事、子供の世話、夫の畑仕事の手伝い、NGOのボランティア、講習会の参加などに当てている。その中でも現地の先住民族衣装であるウィピルの作成に時間を当てる女性が多く、これを売ったり家族内(女性限定)で使用することにより、収入の増加、ウィピルに当てる出費の削減につながっている。(設問4. 5より) また効率の良い改良かまどにより薪使用量の激減が見られ、以前に比べて薪使用量が減ったと答えた家庭は93.8%であった。以上、民族衣装作成による収入の増加、支

出の減少、薪使用量低下による出費の削減により金銭的余裕ができ、そのお金を子供の学費や食料、衣服等に当てたいと考える家庭が多かった。(設問6. 9. 12より)

また、以前の調理法では台所に猫、犬や鶏などが常時入ったり、また調理時に灰が料理の中に入ったりと不衛生であったが、改良かまどによって調理する場所が高くなり動物による汚染がなくなり、灰も飛ばず、衛生的に調理できるようになったと全ての家庭が答えている。(設問11より)

その他にも一度に数種類の調理が可能となったため、沸騰した飲み水も常備し易くなり、これによって病気(下痢、アメーバー、寄生虫)が家庭内で少なくなっている。(設問8)また、改良かまどによって火傷、目の痛み、煙による呼吸困難などが減ったと答えた家庭が65.6%と高かった。(設問8.10より)

この他、調理が一度に実現できることからおかずの種類が増えたなど家庭内の栄養面でも向上が見られるようになった。

今回で2年間続けてきた改良かまど第1フェーズの評価を終了する。この2年間の評価結果より改良かまどの設置により以下のことが見受けられた。

調理時間の短縮…節約された時間を以下の様に使用。

- ・講習会(健康、栄養、縫製など)に参加。
- ・ボランティア(NGOの)に参加。
- ・家事や子供の世話。
- ・民族衣装(ウィピル)の製作。
- ・山や畑仕事。(バツン市住民の大半は農民)
- ・通りで軽食などを販売。

改良かまど設置により調理時間の短縮という利点の他にも以下の改善点が見られた。

- ・沸騰した飲み水を常備できるようになった。
- ・煙に因る疾患(呼吸器疾患、目の痛み)の減少。
- ・調理時の事故の減少。
- ・衛生面の向上。
- ・栄養面の向上。
- ・使用薪量の減少。

### 考察

以上の結果から、講習会参加により女性の意識向上、QOLへの関心の高まり、ボランティア参加によって地域活動の向上がなされていると考えられる。また、子供の世話をする時間が増えたことから教育意識の向上につながっていると考えられる。その他、山や畑で働く時間が増えたり、通りで軽食などの販売をしたりと副収入が得られるようになり家庭の生活向上につながっていると考えられる。中でも民族衣装の製作に時間を当てる女性が目立ち、これによりウィピルを購入しなくても良くなったり(1着=約8000円)、作成した衣装を売ったりと、支出が減ったり、収入が増えたりしている家

庭が増えた。この節約されたお金や、増えた収入で生活必需品や子供の学費に当てている家庭が多いため、ここでも子供に対する教育意識の向上が考えられる。

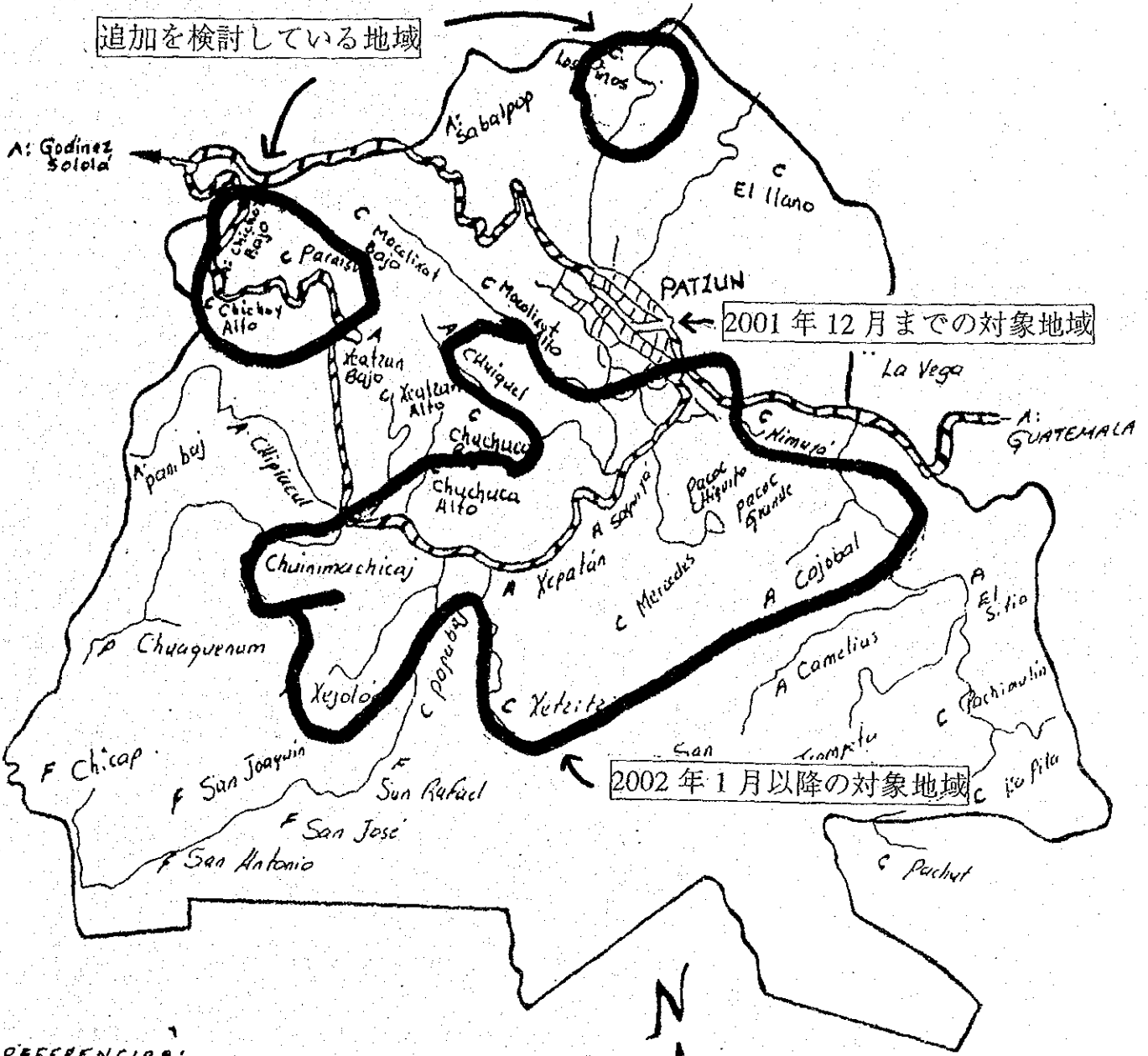
以前の調理法は地面に直に薪を組むため、1箇所につき1つの鍋しか設置できず、料理のほかに煮沸した飲み水を作る余裕がなく殆どの家では作られてなかったが、改良かまどにより煮沸した飲み水を作る余裕ができています。これにより実際に下痢、寄生虫やアメーバなどの消化器疾患が家庭内で減ったという結果につながり、生活衛生面の向上が考えられる。以上の病気のほかにも、煙に因る呼吸器疾患や目の痛みなども、改良かまどの煙突により煙が同時に家の外に排出される機能でこれらの病気の減少が考えられる。その他、改良かまどにより衛生的に調理できたり、台所を衛生的に保つことができるようになったと答えた家庭も多く、これらからも衛生面の向上が考えられる。また一度に調理が可能になったことからおかずの種類が増えたなど栄養面での向上も考えられる。

以上の他に、特に目だった改良かまどの利点は「薪使用量の激減」である。評価対象の全家庭が薪使用量の減少を評価している。これにより経済的に調理できる様になり、また薪の切り出し減少により、森林保全にもつながっていると考えられる。

以上、2年間実施された評価より各家庭で改良かまどは高く評価され、定着していると考えられる。これにより、以上に述べた女性意識、QOL、地域活動、教育意識、生活衛生面の向上が改良かまどの普及により考えられる。

添付資料として改良かまど設置前、設置後のかまどの写真を添付する。





REFERENCIAS:



- C = Caserios
- A = Aldeas
- F = Fincas
- ▨ = Carretera Asfaltada










### VII. CENSO DE LA FAMILIA

Escriba en cada cuadro el número de personas que hay en la familia según su grupo de edad  
(Incluir sólo los familiares que viven en la casa con el niño)

	Cuántos menores de 12 meses (menor de 1 año)	Cuántos de 12 a 23 meses (1 a 2 años)	Cuántos de 24 a 59 meses (2 a 5 años)	Cuántos de 5 a 6 años 11 meses	Cuántos de 7 a 14 años 11 meses	Cuántas personas de 15 a 44 años	Cuántas personas de 45 años o más	Cuántas personas hay en total en la familia
Mujeres 								
Hombres 								
Total								








### VIII. SEÑORAS EMBARAZADAS EN LA FAMILIA

Escriba en cada línea los datos que se le piden.

Nombre de la señora 	Fecha de Nacimiento de la señora	Fecha en que se espera el parto	Vacuna contra el Tétano 	¿Quién atenderá el parto? 	Fecha de nacimiento del niño/niña	Nació Vivo 	Nació Muerto 
			Dosis Fecha	Comadrona <input type="text"/>			
			1ra. 2da.	Médico <input type="text"/>			
				Otro <input type="text"/>			
				Nombre: _____			

### IX. VACUNACION DE NIÑOS MENORES DE 5 AÑOS

Escriba el nombre del niño y la edad en que recibió la dosis de vacuna.

Escriba el nombre del niño	Menor de 1 año 	1 a 2 años 	3 a 5 años 	Sexo		Contra la Tuberculosis 	Triple o DPT 			Contra la Polio 			Contra el Sarampión 		RECOMENDACIONES	
				M	F	Dosis	Dosis			Dosis			Dosis			
						1	1	2	3	1	2	3	1	2		

### XIII. SANEAMIENTO AMBIENTAL

Escriba una X en el cuadrado según lo servicios con que cuenta la familia.

LETRINA				A G U A						COCINA			
Tiene Letrina	Usan la Letrina	Tiene Chorro en la casa	Saca su agua de llena cántaro	Saca su agua de pozo	Saca su agua de río, lago o nacimiento	La cocina está separada de los cuartos		Eliminan adecuadamente el humo (chimenea)		Cocinan en alto			
						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
SI	NO	SI	NO	SI	SI	SI	NO	SI	NO	SI	NO		
Es segura para beber													
				SI	NO	SI	NO	SI	NO	SI	NO		

### XIV. EDUCACION DE LOS NIÑOS

Escriba en cada cuadro el número de los niños que participan en cada actividad educativa.

	Niños menores de 5 años		Niños de 5 a 6 años 11 meses		Niños de 7 a 14 años 11 meses				
	Desarrollo del niño	No Reciben	Preprimaria	No Reciben	Escuela Primaria	No Reciben	Niños en primaria repitiendo el grado	Educación Básica	Capacitación Productiva
NIÑAS									
NIÑOS									
TOTAL									

### XV. EDUCACION DE JOVENES Y ADULTOS

Escriba en cada cuadrado el número total de jóvenes y adultos por actividad educativa. Personas de 15 años en adelante.

	Primaria	Básico	Diversificado	Universidad	Capacitación Productiva	Alfabetización	No sabe leer y escribir	Saben leer y escribir
Mujeres								
Hombres								
Total								

### XVI. ACTIVIDADES DE DESARROLLO DEL NIÑO EN LA FAMILIA

Escriba una X en los cuadrillos según la respuesta del entrevistado.

Quién de la familia participa en educación de desarrollo del niño? MADRE <input type="checkbox"/> PADRE <input type="checkbox"/> OTRO FAMILIAR <input type="checkbox"/>	Practica la familia con sus hijos menores de 5 años los contenidos de Desarrollo del niño SI <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/> Frecuencia: Semanal <input type="checkbox"/> Quincenal <input type="checkbox"/> Mensual <input type="checkbox"/>
--	---

Recomendaciones y observaciones para la familia

プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) (案)

プロジェクト名: パツン市公衆衛生改善指導プロジェクト

対象地域: パツン市及び周辺の6の村

協力期間: 1998年2月~2003年2月

作成者: 協力隊員/アクアラ協会職員

ターゲットグループ: 対象地域の住民

作成日: 〇〇〇〇年〇月〇日

Narrative Summary プロジェクトの要約	Verifiable Indicators 指標	Means of Verifiable 指標資料入手手段	Important Assumption 外部条件
I. 上位目標 対象地域の住民の生活レベルが向上する  II. プロジェクト目標 対象地域の住民の公衆衛生が改善される	プロジェクト終了X年後 -対象地域の栄養失調児数が〇%減少する -対象地域の乳児死亡率が〇%減少する -対象地域の住民の所得が〇%上昇する	一 国、県、市の保健統計 一 国、県、市の経済統計 一 国、県、市の生活実態調査	-グアテマラ国の公衆衛生政策が変わらない
III. 成果 1. 衛生トイレが普及する 2. 改良かまどが普及する 3. 保健衛生が普及する 4. 栄養知識が普及する 5. 野菜に関する知識が普及する	プロジェクト終了時 -下痢、寄生虫等に感染する住民が〇%減少する -薪の使用量が〇%減少する -やけど等の疾病が〇%減少する -家事に必要な時間が〇時間減少する -住民が中学生レベルの保健衛生の知識を身につける -住民が中学生レベルの栄養に関する知識を身につける -農民が〇〇と〇〇の栽培に関する知識を身につける	一 国、県、市の保健統計 一 国、県、市の経済統計 一 国、県、市の生活実態調査 一 地区保健員の巡回記録 -プロジェクトの会員訪問記録 -協会会員選定アンケート調査結果 -プロジェクト終了時アンケート調査結果	-アクアラ協会の活動が継続される -アクアラ協会の会員対象地域が変更されない
IV. 活動 1-1 対象家族を選定する 1-2 工事施工者を決定する 2-1 対象家族を選定する 2-2 工事施工者を決定する 3-1 母親定例集会で講習会を実施する 3-2 離乳食教室を開催する 3-3 小学校を訪問し健康教育を実施する 3-4 ..... 4-1 女性グループに対し講習会を実施する 4-2 低栄養児宅を訪問し栄養指導をする 4-3 小学校を訪問し栄養指導を実施する 4-4 ..... 5-1 ボカシ肥を普及する 5-2 換金作物を普及する 5-3 サツマイモの市場を開拓する 5-4 .....	V. 投入 日本側 1. 隊員の派遣 (1) 保健師 60M/M (2) 栄養士 60M/M (3) 野菜 60M/M 2. 現地業務費 〇〇千円 3. 特別機材供与費 〇〇千円	グアテマラ側 1. カウンターパートの配置 (1) 所長 60M/M (2) 各分野のカウンターパート 60M/M 2. 事務員 〇人 3. 土地、施設及び付帯設備の提供 4. 機材維持費経費等の支出 5. 事業運営費 〇〇ドル	一 村民が移住しない 一 自然環境、生活環境が極端に変化しない  前提条件 Pre-conditions 一 住民がプロジェクトを受け入れる 一 協力隊員及び各カウンターパートが配置等両国の投入が適切される 一 グアテマラ国がプロジェクトの活動を承認する

「かまどの構造と熱効率に関する調査」

## エンザロかまどの改善と普及

### (1) エンザロかまどの特徴

焚き口が1つで料理は同時に3カ所でできるという特徴がある。このかまどは戦後、日本でも生活改善運動の1つとして取り組まれた歴史がある。

主婦の労働の軽減と燃料（薪）の節約がその主な理由であった。ビヒガの村でも、このかまどの利用者たちも労働の軽減と薪の節約を第一に挙げている。

ただ、エンザロ村等でこのかまどを設置していく大きな理由として、常時ボイルした水を、飲料水はもちろんのこと、生活用水として利用することが挙げられている。川はもちろんのこと、地下水までもが細菌で汚染されている（後述する）現在、これは非常に重要なことである。

### (2) エンザロかまどの改善

エンザロ、マサナ、イデレリの3つの村では既に全家庭がエンザロかまどを設置している。どの家庭を訪れても、このかまどは伝統的かまどに対して優れていることは認めている。

しかし、焚き口が小さく、奥行きも浅いために薪が燃やしにくい家庭もあれば、炎が左右に流れていくトンネルが小さいために左右のかまどの熱効率を悪くしている家もある。かまどの中央の穴が大き過ぎて、ここから炎を全部外に出してしまっている家庭もあった。

かまどづくりの実際の指導に当たっているアレngo、アユグ両氏が熱効率の良いかまどの構造を認識し、自分の手で製作できることが何より先決問題である。

そのために各家庭を訪問し、彼らがどんなつくりのかまどの熱効率が優れているかを探り当てることである。

各家庭で薪を燃やし、最も高温の部分の炎がかまどの中を有効に流れているかを調べ、かまどにかけたポットの中の水の温度が70℃に達する時間や薪の重量を測定していった。この中で2人はどのようなつくりのかまどが最も熱効率が良いかを認識することができた。

アレngo氏がこれから新しくかまどを設置する村に出かけて指導に当たり、熱効率の良いかまどをつくりだすことができた。



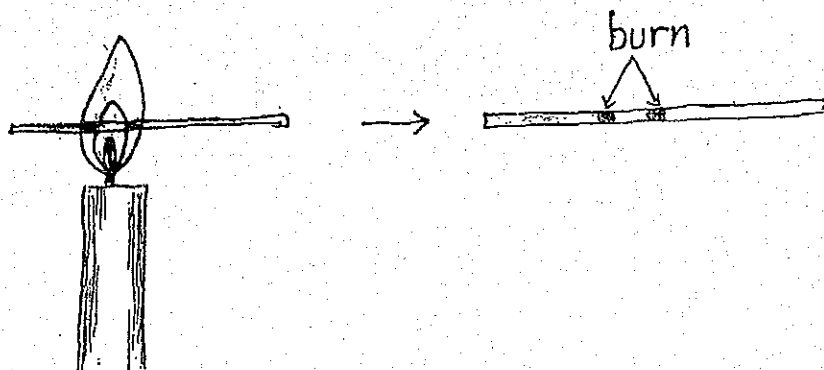
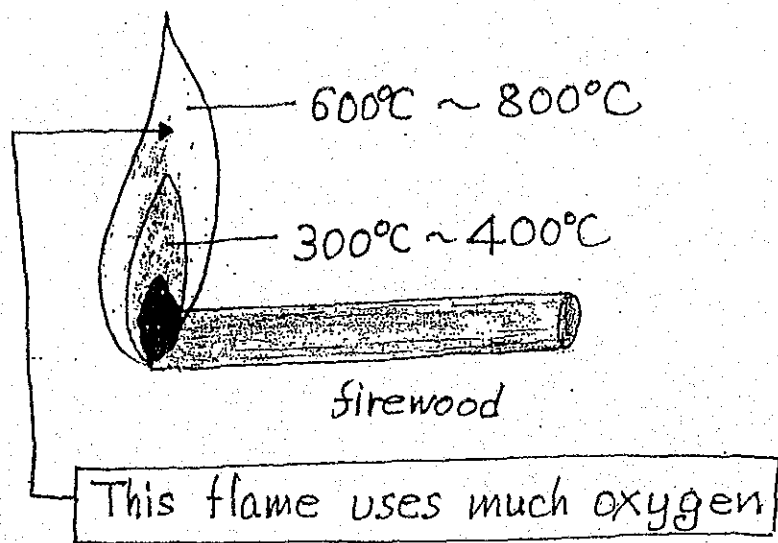
### (3) かまどの普及

2人は各家庭を訪問し、かまどのつくりをチェックして、どこをどのように改善すればもっと効率の良いかまどにすることができるかの指導に当たり始めた。指導を受けた家庭では皆その指導を歓迎している。

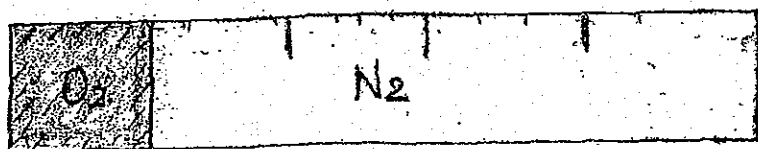
私が訪れた家庭の中で3軒が伝統的かまどと併用していた。2軒は伝統的かまどが持っている囲炉裏的雰囲気捨て切れなかった。来客があったり、急いで食事をしなければいけない時にエンザロかまどを使用しているとのことであった。両家庭とも長老がいて、その長老が出てきて説明をしてくれた。

もう1軒はエンザロかまどのつくりがあまりにも悪いために、慣れた伝統的かまどの方を使用していた。有効性のあるかまどを設置してもらうことが普及の大切な要素となっている。

# [I] Temperature of Flame — firewood —



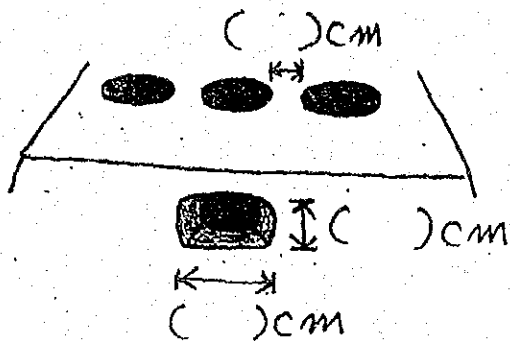
# [II] Air



Oxygen  $\frac{1}{5}$

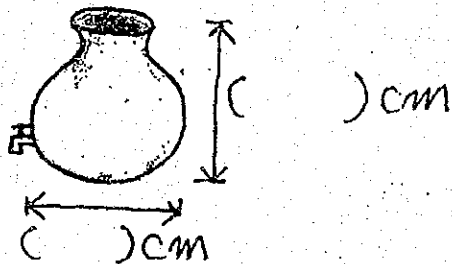
Kitchen range (Enzaro Jiko) ——— Thermal efficiency

(1) Construction of Kitchen range



\*Enzaro Jiko : エンザロかまど

(2)



(3) Temperature of water ( $70^{\circ}\text{C}$ ) — 2 liter

Time of combustion and Weight of firewood

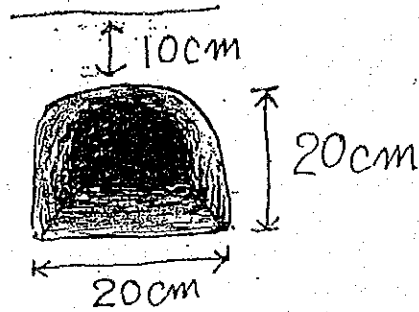
- ① Time of combustion ( ) minutes
- ② Weight of firewood ( ) kg
- ③ Name of used tree ( )
- ④ Temperature of flame ( )  $^{\circ}\text{C}$

(4) Kind of tree (firewood)

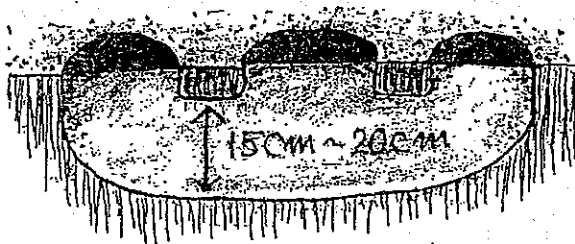
- [ ( ) ] [ ( ) ]
- [ ( ) ] [ ( ) ]
- [ ( ) ] [ ( ) ]
- [ ( ) ] [ ( ) ]

# Check point of ENZARO JIKO

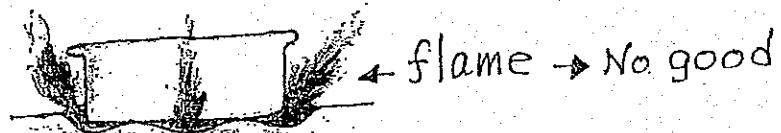
(1) Size of the entrance of fire place



(2) Size of flame tunnel



(3) Main cooking place — Check of Space



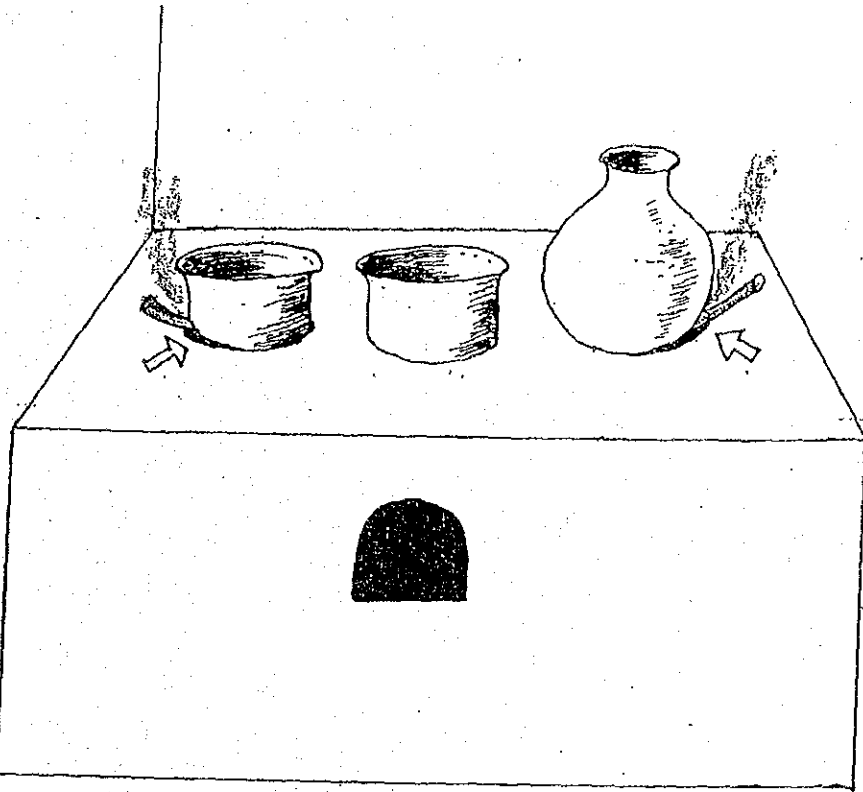
## Grading

A. (1)(2)(3) pass → Very good

B. (1)(2) pass → good

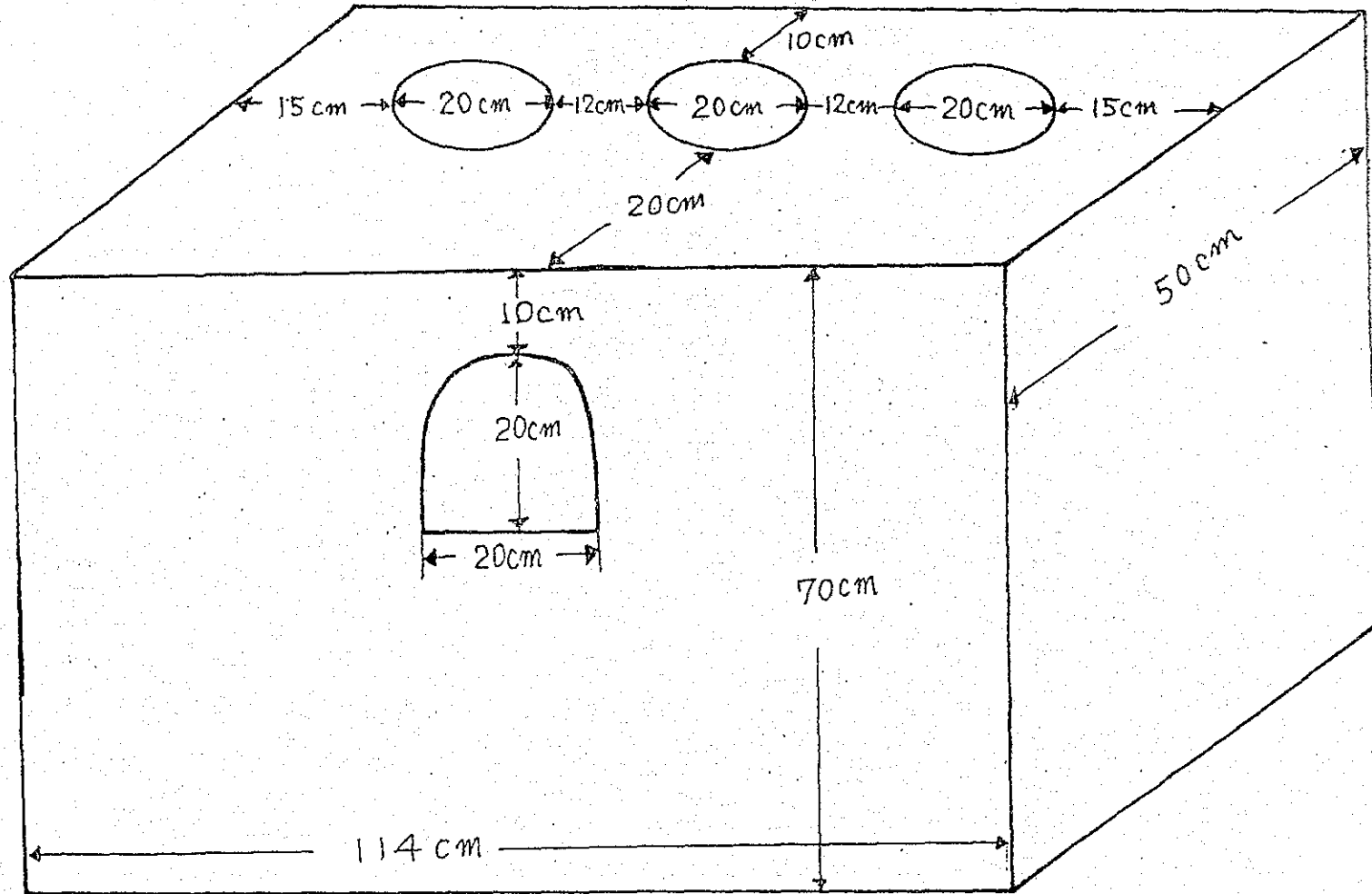
C. (1)(2)(3) failure → No good \* Guide \*

## 住民の知恵

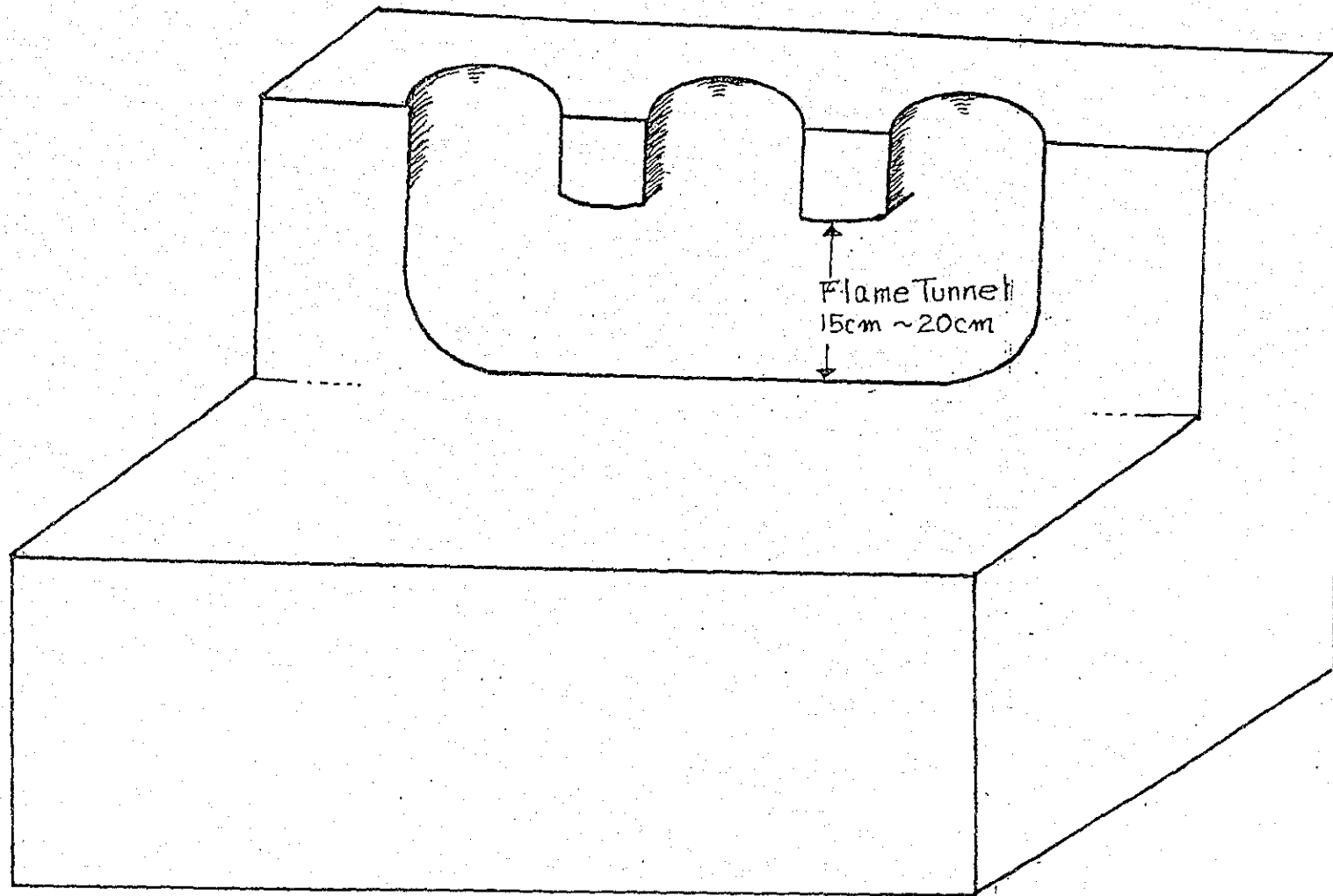


- (1) 左右のかまどに炎が伸びていくようにするために、  
圈のように棒を差し込んでいる。  
対流もスムーズにおき、燃えやすくしている。
- (2) かまどの高さは料理をする人の高さに応じて  
かなりの変化がみられる。
- (3) 土間が狭い家では、かまども小さくなっている。  
縦 50cm  
横 114cm に設計したのは、小さい土間に合わせ  
たものである。
- (4) 焚口、焚口からの奥ゆき、左右へのトンネルの大きさに  
知恵があふんでいない家が多い。

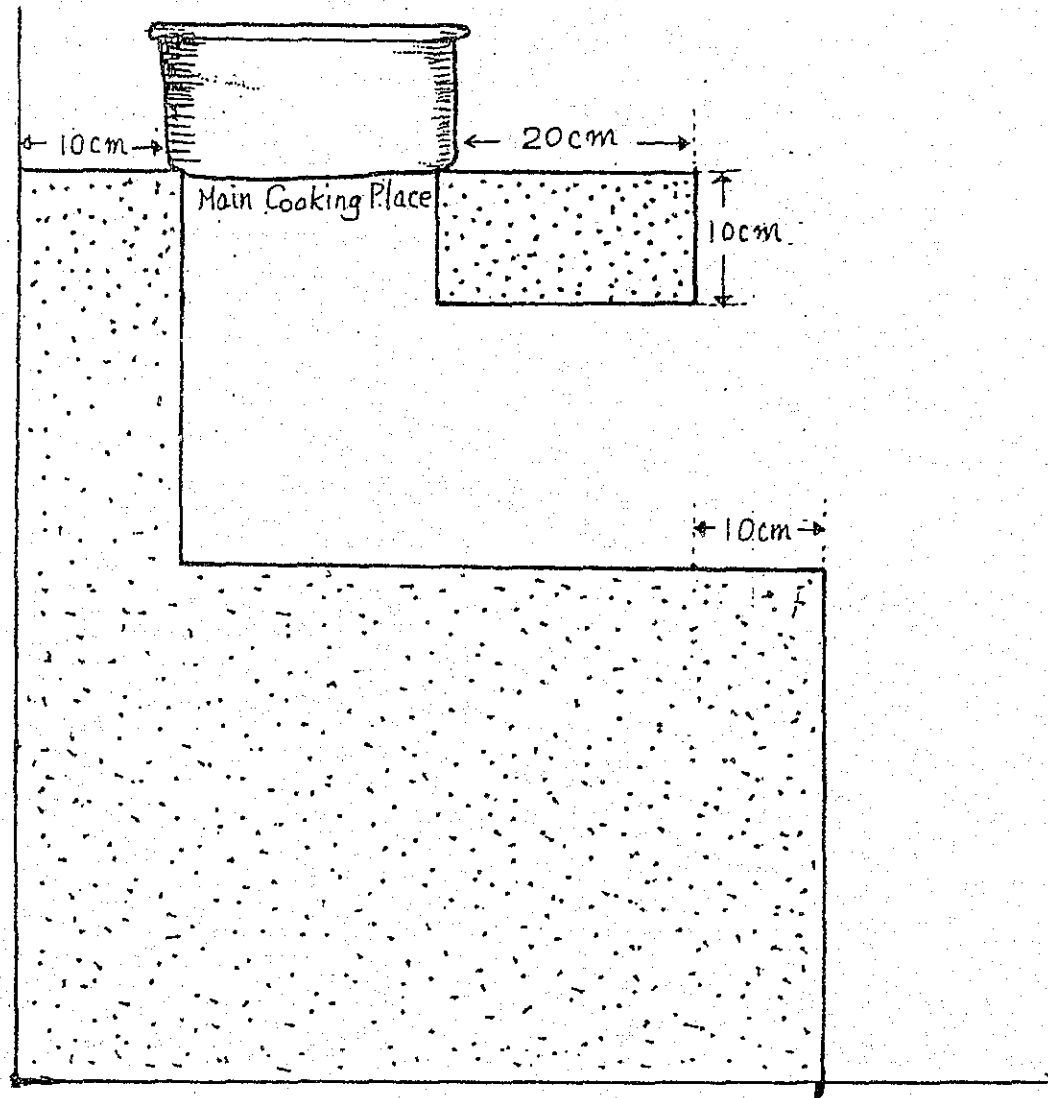
# MODEL of ENZARO JIKO (I)



Model of ENZARO JIKO (II)

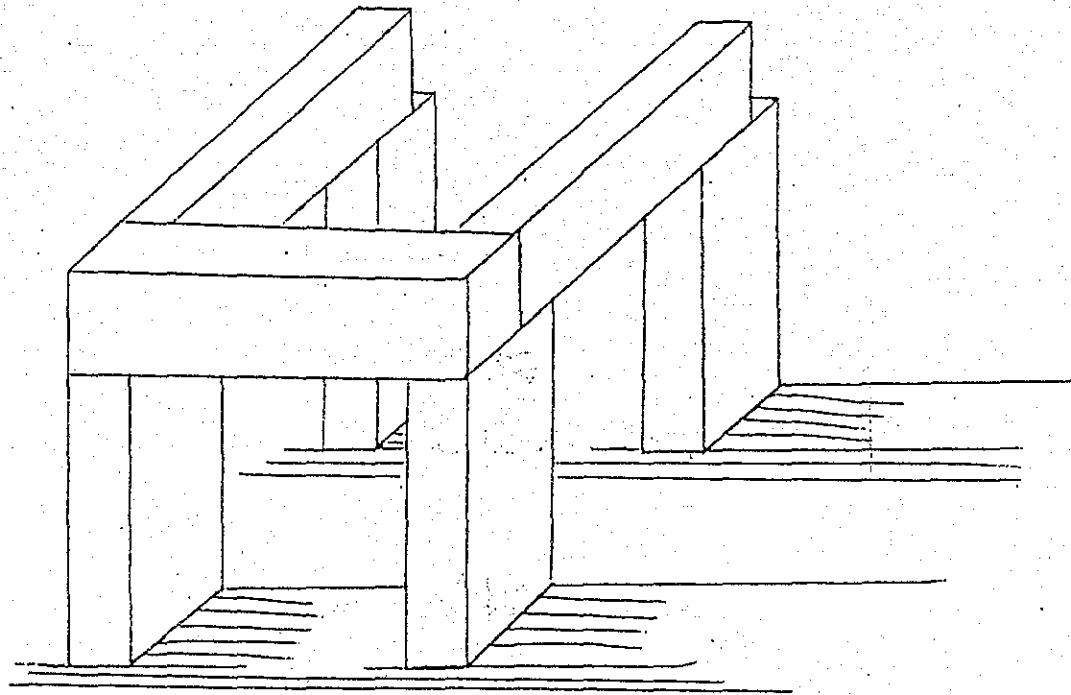


# Model of ENZARO JIKO [III]



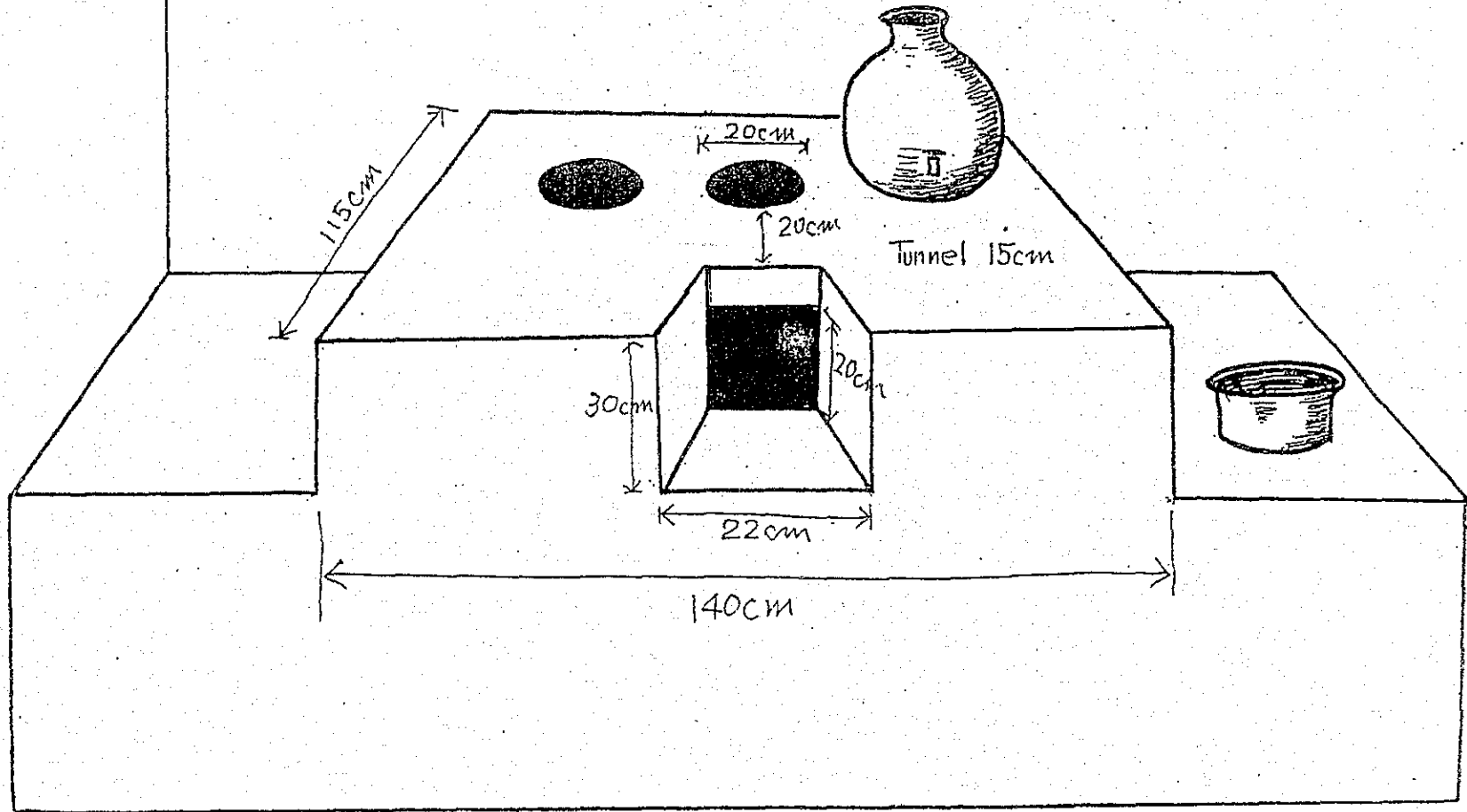


Model of ENZARO JIKO [IV]



The base of Flame Tunnel made from bricks.

Mrs Jonesi のかまど



各家庭によって、かまどのつくりは違い、それぞれの工夫のあじが見られる。(失敗作も含め)  
その中でも最も良い(つくり・機能・燃焼効率)のが Mrs Jonesi 作のかまど。

## 薪として使用している植物

—— エンザロ村・マサナ村・イデレリ村で主に使われている薪 ——

### 樹木

Blue Gum, Spruce, Euphorbia

Jacaranda, Lusiola (Luhya), Mango

Pine, Mbeshe (Luhya)

### 作物

Maize, Millet, Cassava,

※ この地域に樹木が少いことを物語っている。

### 雑草

Leonotis (いたるところで見られる雑草)

※ この地域に、いかにも樹木が少いことを物語っている。

### [備考]

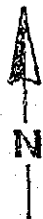
(1) この地域の人たちは自分の庭の中や畑の周辺に生えている樹木を主として利用しているようである。

(2) 作物に関しては、この時期においては燃焼させることができなかった。

(3) この地域には森林らしい森林もなく、伝統的薪の4分の1の薪の量ですむエンザロ竈は重要な意味をもっている。

# Eamination of ENZARO JIKO — Area —

## VIHIGA DISTRICT ADMINISTRATIVE BOUNDARIES

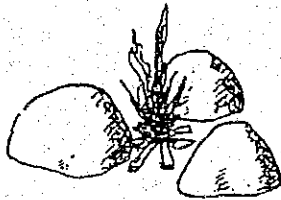


# KIBIRICHIA の JIKO の歴史

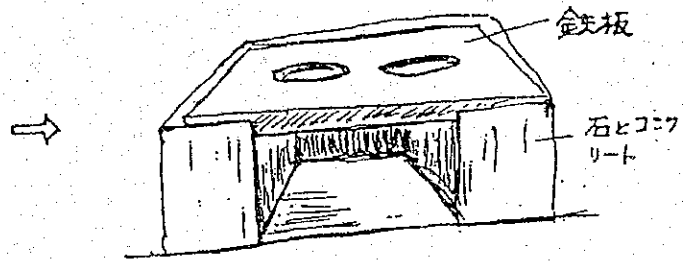
この地域の人たちは、ENZARO JIKO のビデオとパンフレットを見た  
だけで、各家庭が、ENZARO JIKO を自主的に取り入れている。

その主な理由は、ENZARO JIKO が KIBIRICHIA JIKO よりも料理が 楽に  
なること、薪の量が 4分の1 であるという優位性を認められたからである。

しかし、優位性を認められたからといって、それを直に実践していくことができるのには  
もう一つの理由がある。それは、すでに、この地域では伝統的では JIKO は  
使用されておらず、KIBIRICHIA JIKO と呼ぶより、JIKO を各家庭で使用している  
からである。



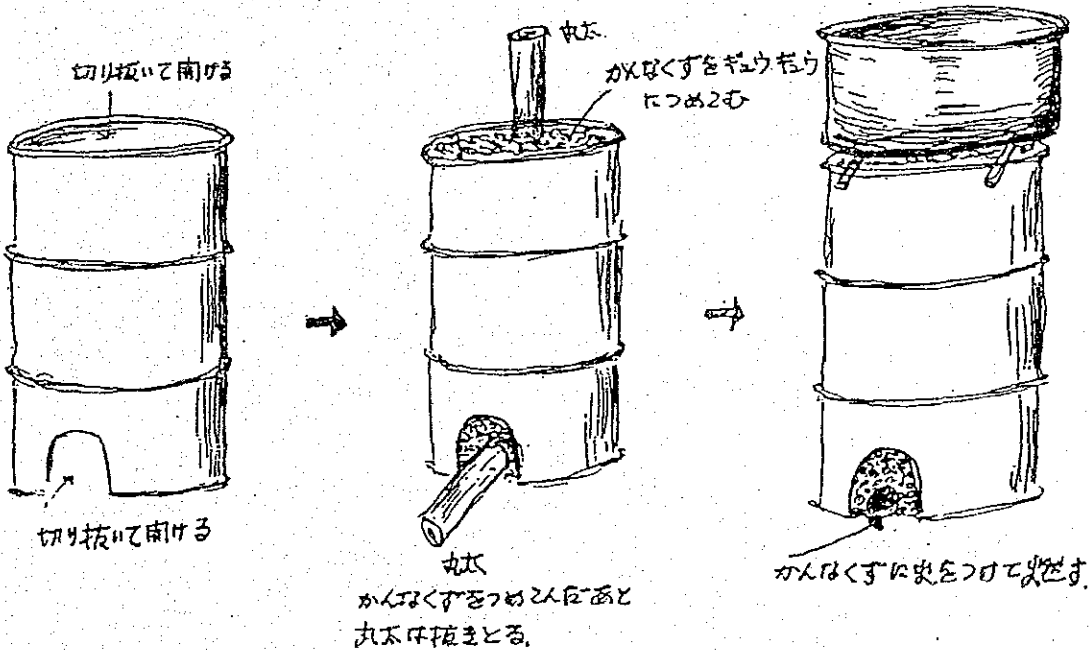
Traditional Jiko



KIBIRICHIA JIKO

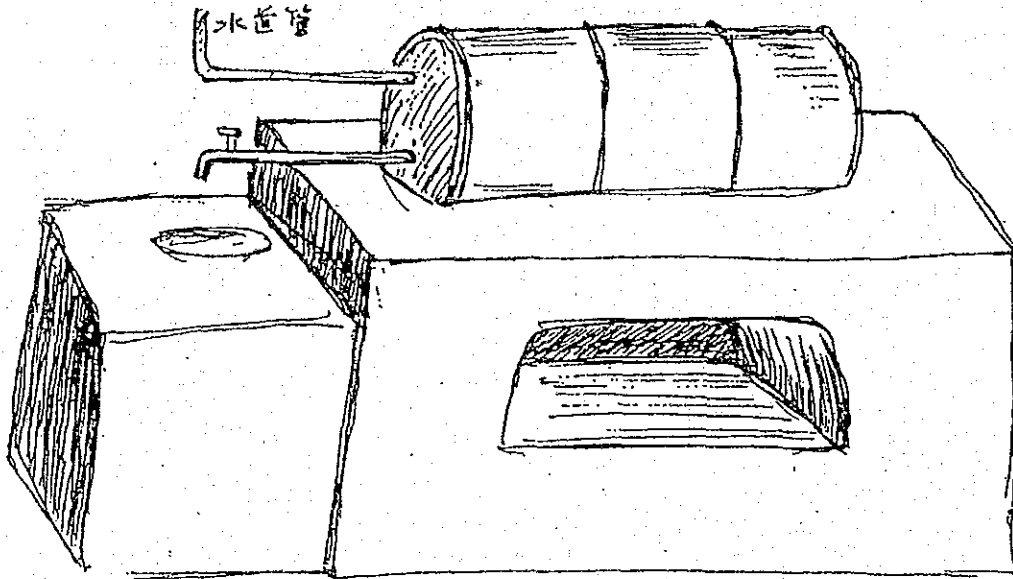
1つの穴で、同時に2つの料理  
ができる。

もう一つは、ドラム缶を利用した JIKO が使用されている。これは KIBIRICHIA 地域が  
材木の村として発展していることと関連している。



最近、焼肉レストランなどに行くと、下図のような JIKO が買われ、常時、お客が  
 ホイルした水で手を洗うことが出来るようにしている。

この JIKO は燃料としては主におがくずを使用している



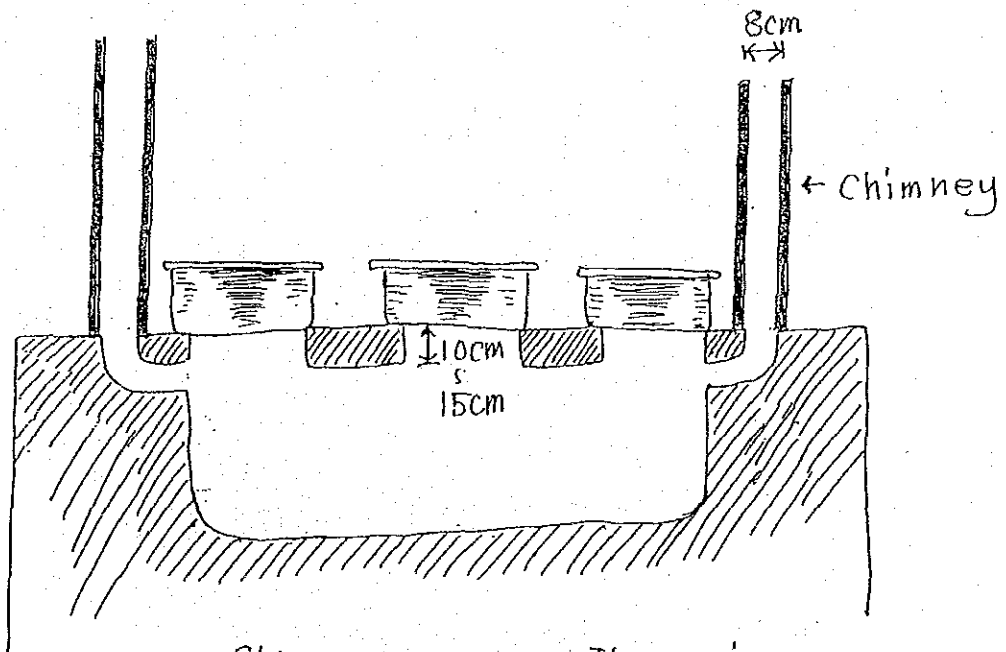
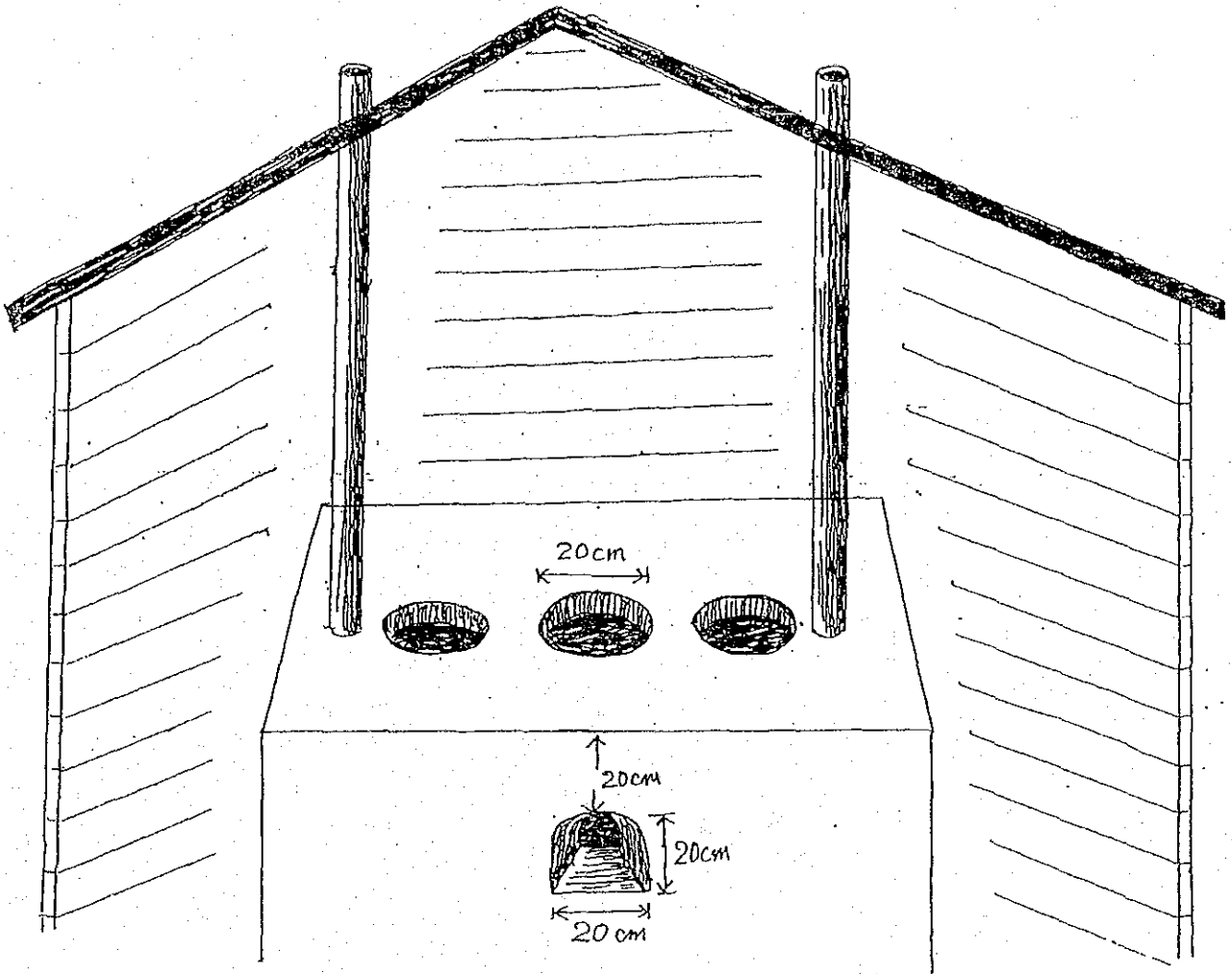
以上のように、この地域では、より燃効率のよい JIKO、地域に産出する燃料  
 を利用する JIKO が発達している。このように歴史性がある地域であるがために、  
 ENZARD JIKO も住民が積極的に取り入れることができてきているものと思う。  
 (しかも、ENZARD 村で作るための JIKO よりも、はるかに効率のよい JIKO を  
 作り上げている家庭が多いのは、KIBIRICHIA JIKO の体験があるから  
 であり、ENZARD 村のように効率のよい JIKO を作ってもなお、Traditional  
 JIKO にこだわり続ける家庭があるのに対し、KIBIRICHIA 村では、  
 KIBIRICHIA JIKO も放棄してしまっている。

ENZARD 村より、圧倒的に材木が豊富な KIBIRICHIA の住民の方が、薪の  
 経済を優先させているのだ。

KIBIRICHIA は背後にケニアの山々を擁する原生林をかかえているため  
 に、ENZARD JIKO がこの地域一帯に広がることは望まないのである。

#### 〔ENZARD JIKO に対する主婦たちからの要望〕

煙は臭い。なにより、この JIKO に煙突をつけることはできないが、というところ  
 がある。高度の高い村であり、カが家の中にほくとひびくので、煙は必ずと  
 ちいれぬのである。この要望を受け次のような JIKO を設計し、24 時間  
 カウターポートがモデルとして製作することになっている。



Chimney ↔ an earthen pipe  
 or  
 an iron pipe

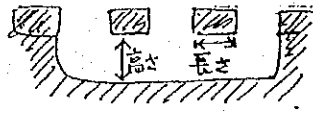
各家庭に作られた Enzaro Jiko の違い (KIBIRICHI 村)

(1) JIKO の大きさ

- 高さの違い 主婦の身長に合わせて作っている。
- おくゆきの違い 全般的に cooking place のおくゆきがおゆ。おゆとしてあるのは、壁が木製の板である。あとは、部屋の広さに応じて、おくゆきは長くなっている。広い程、なべなどが置けるので都合がよいとのこと。

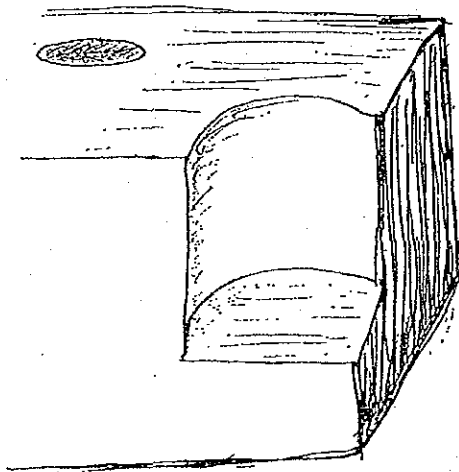
(2) Flame Tunnel の大きさ

- 高さの違い 炎の流れる意識して作っているか、どうかで違いがでている。
- Tunnel の長さ どの程度のなべを使用しているかと関連している。大家族の家では Tunnel の長さを充分にとらないと、大きななべが使用できない。燃効率は甘では、JIKO のつくりはきめられないという1つの理由がある。

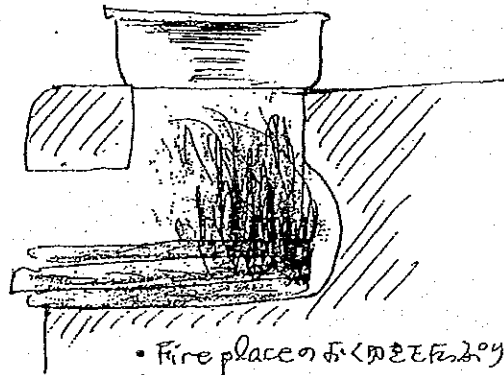


(3) 他の家とは違う JIKO をつくりたいという意欲

- Cooking place のまわりが一番かわれやすいことを考慮して、金属製の輪をふたにはめこんでいる家庭の JIKO



- 腰をおろし、外むきめのイヌモで作る家庭の JIKO



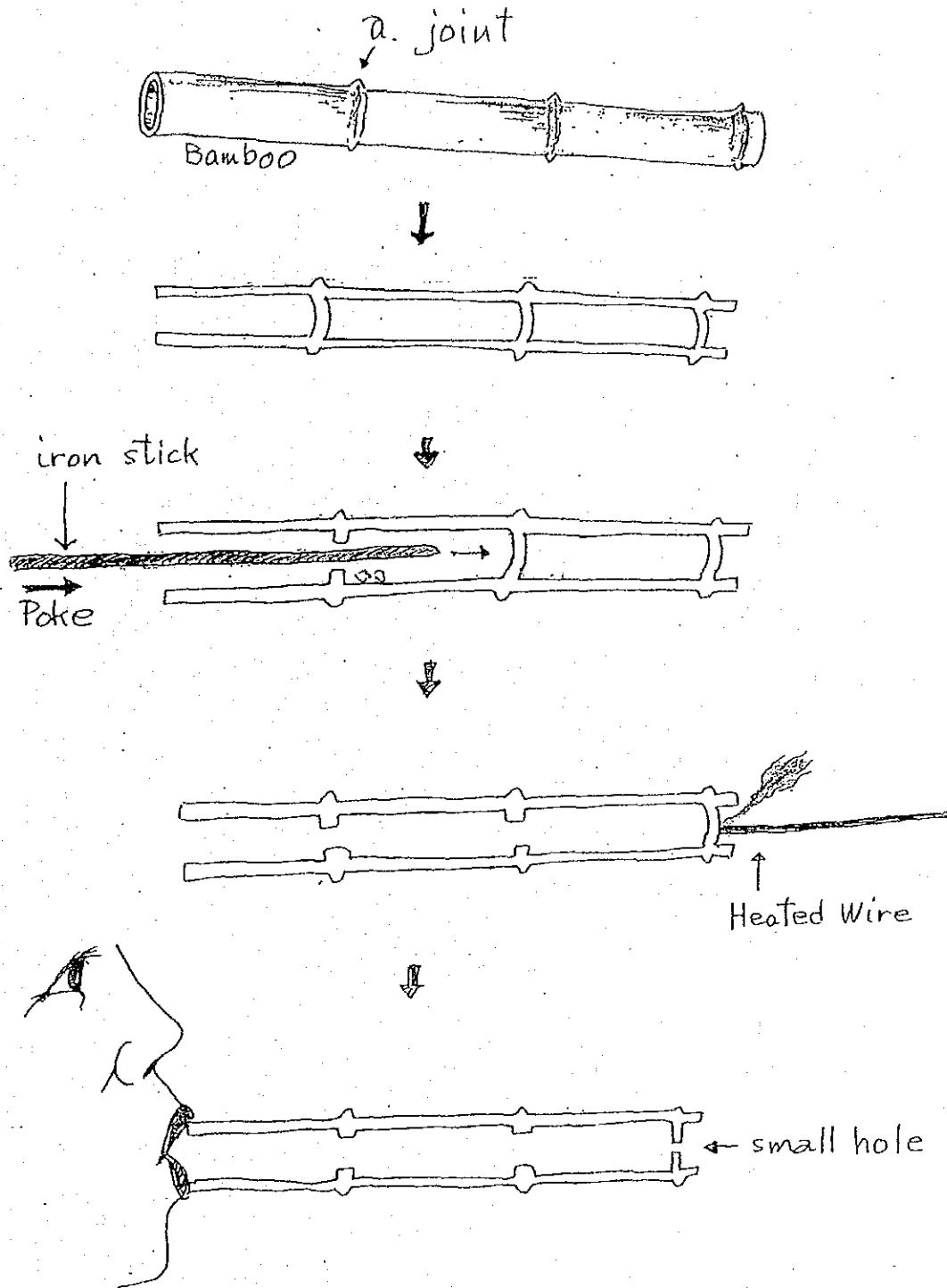
- Fireplace のおくゆきをふたよりひろくする JIKO

- 土で JIKO をつくりおが灰とセメントでまわしにぬりかためた JIKO

各家庭をまわった喜びの1つが、JIKO に関する自分なりの工夫した自分語りがあることである。

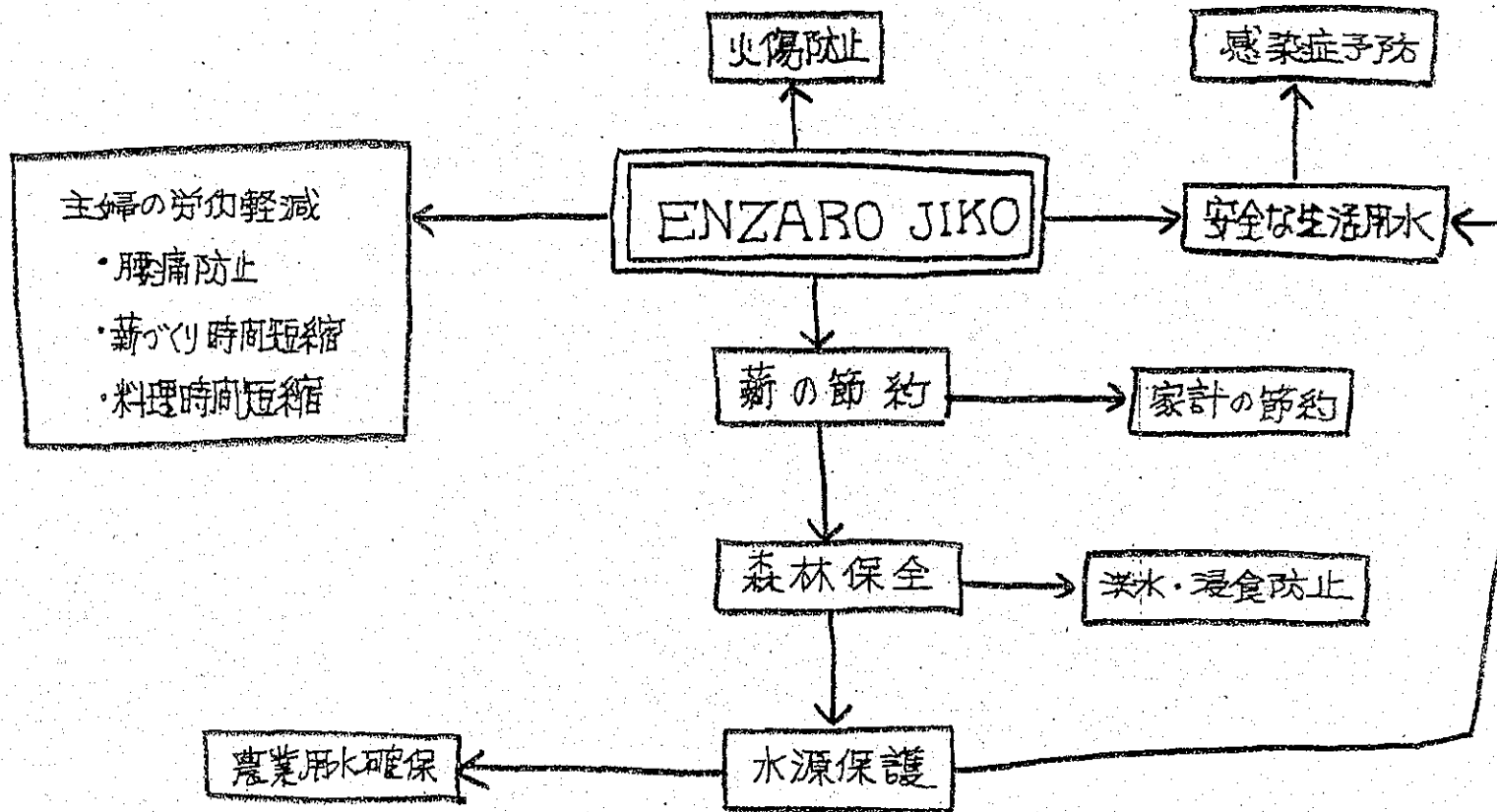


# Bamboo Blower



現地の人は鉄パイプを火吹き竹として使用している。効率をよくするためには、本来の火吹き竹がすぐれているので紹介することにした。竹は現地にも自生している。

# ENZARO JIKO 効果



## メルー地域でのエンザロかまど普及の重要性

メルー地域はケニア山自然公園やメルー自然公園を抱えている上に、公園外にもモイストフォーレストと呼ばれている原生林がある。公園内はもちろんのこと、この原生林にもアフリカゾウをはじめ多くの野生動物が生息している。

この野生動物とのトラブルを起こさないようにするためにも、自然公園の周辺の原生林は大切に保護されなければいけない。

ところが、メルーの中心地辺りを見ると、年々この原生林が切り崩されていっている。人口が増加するに伴って、畑として開発されているのが主要な側面であるが、薪として切り倒されている量も馬鹿にならない。

いま、キビリチア・サブ・ロケーションで始まったエンザロかまどをメルー全体に、更にはその周辺にまで普及させることは重要な課題であるといえる。

## 土地改良の重要性

このことと合わせて、もう1つの重要な課題は農耕地の拡大政策を進めるのではなく、単位面積当たりの収穫を増やす土地改良を最優先させていくことであると考えられる。

原生林は野生動物にとって住み良いところであるが、植林は一種類の木のみでつくられ、しかも針葉樹ともなれば野生動物にとっては良い住処とはならない。

原生林をこれ以上破壊しないためには、どうしても土地改良が進められなければならない。野生動物保護のための国立公園や自然保護区が国策とされている以上、土地改良は急務といえよう。

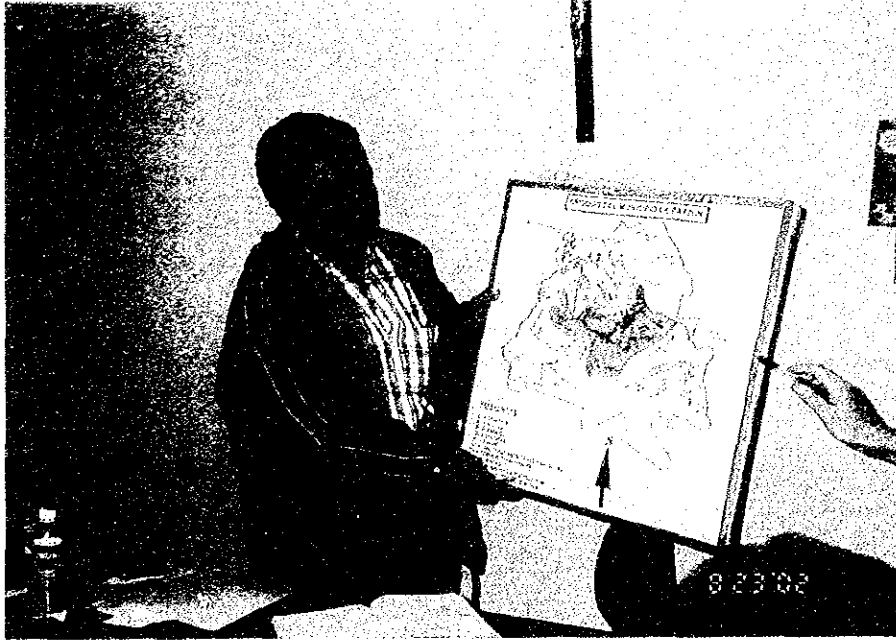
雨季に起こる土地の大浸食を防ぐには、原生林の一層の保護と植林の一斉伐採の中止、土地改良が同時に進められていく必要がある。

このことは、ギビリチア・サブ・ロケーションの雨季の様子を見れば、誰にでも理解できることであろう。数少ない川の汚染を防止するためにも不可欠な地域開発の政策である。

## 参考資料

- 1 写真
- 2 派遣情報一覧及び配置図
  - (1) グアテマラ
  - (2) ホンデュラス
  - (3) パナマ

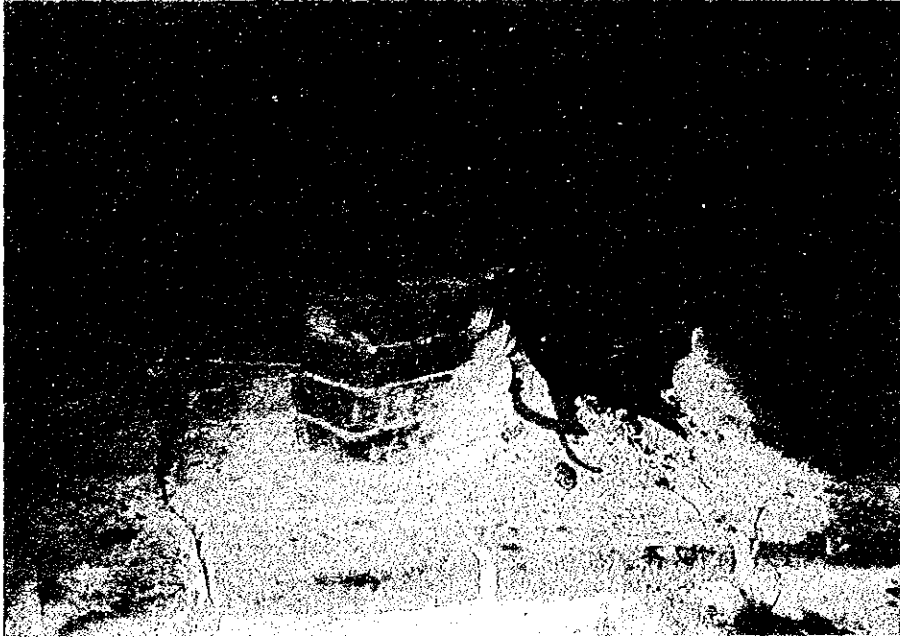
I. グアテマラ共和国



アクアラ (PATZUN ACUALA) 協会にて  
所長ラファエル (Rafael A. Juarez Lopez) 氏 活動地域について説明中

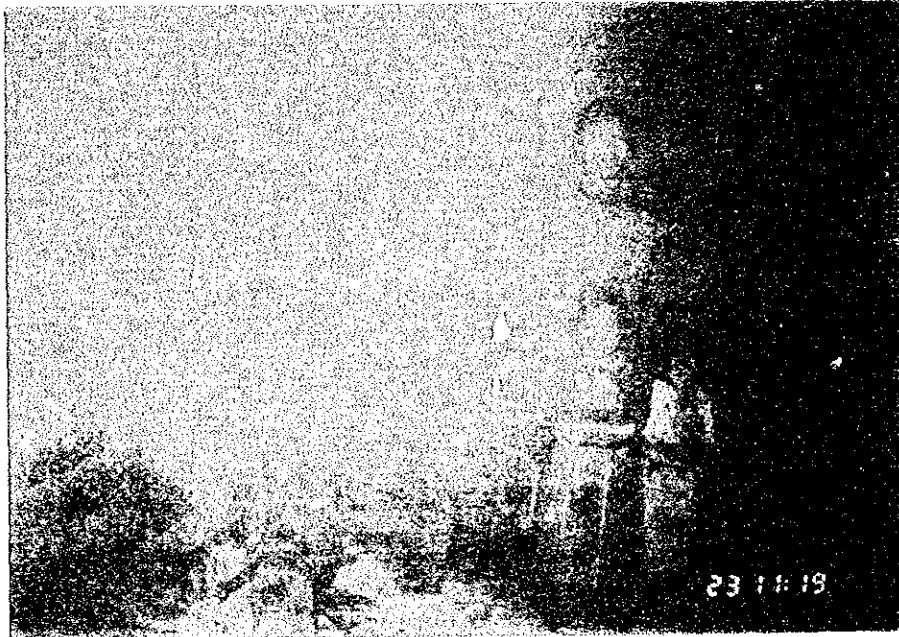


かまどの状況調査  
第3フェーズ申請中：1軒目 (アクアラ協会会員 No. # 360 住所 Xeatzitz'i)



かまどの状況調査

第3フェーズ申請中：2軒目（No.# 547 住所 Xepatan）





かまどの状況調査  
漆畑裕介隊員（131 野菜） 下村京子隊員（132 栄養士）ほか



第3フェーズ申請中：3軒目（No. # 106 住所 Xepatan）

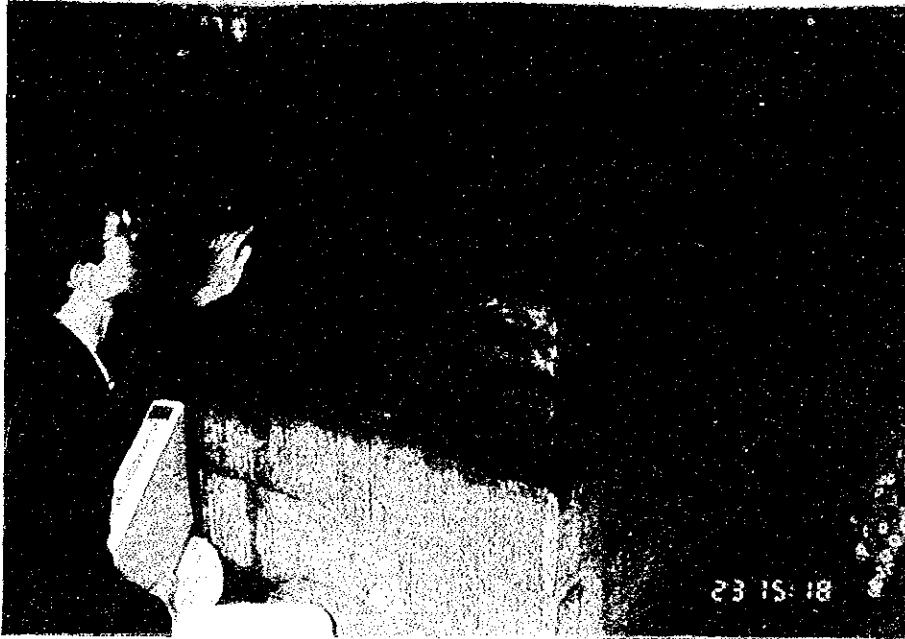


第2フェーズ設置改良かまどの使用状況：Albertina Patunayche宅（住所 Canton Sur）



改良かまどでアレスコンレッチェ（重湯風の売り物）調理  
清水真理子隊員（122 保健師）



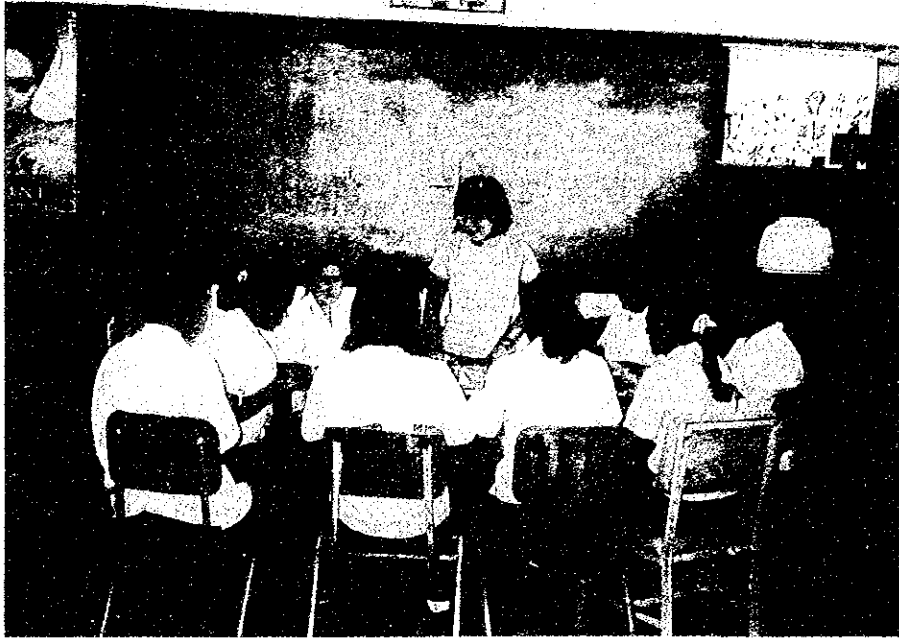


第1フェーズ設置改良かまどの使用状況：Teresa Tum 宅（住所 Canton Oriente）



食品加工工場 Alimentos Kernにて  
工場長 Ing. Marco Vinicio Recinos O. 氏 概要説明中

II. ホンデユラス共和国



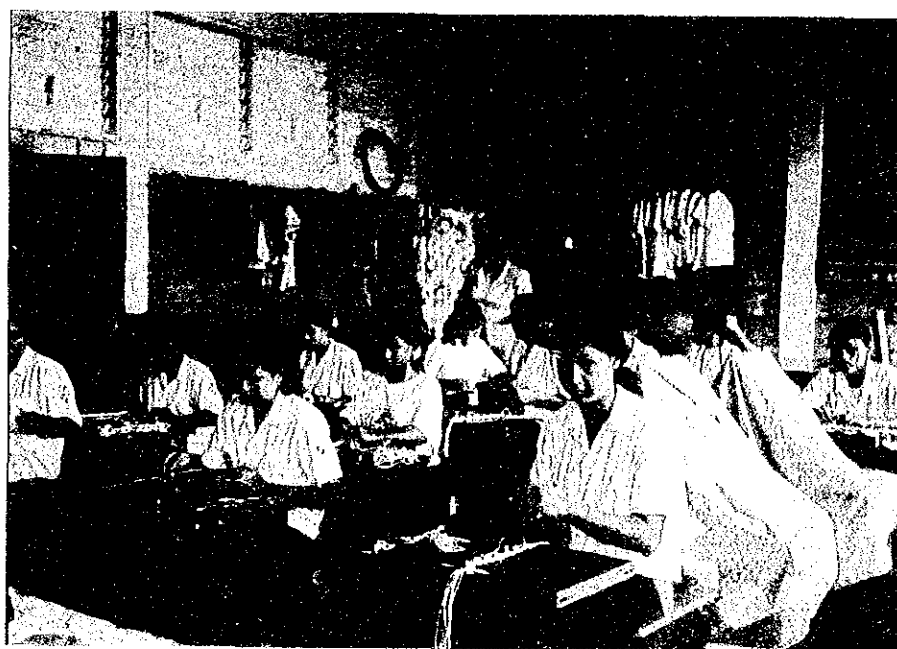
ドロテオ・ヴァレラ・メヒア技術中高校（ラ・パス県ジャルメラ）  
徳内ゆき隊員（131 家政）

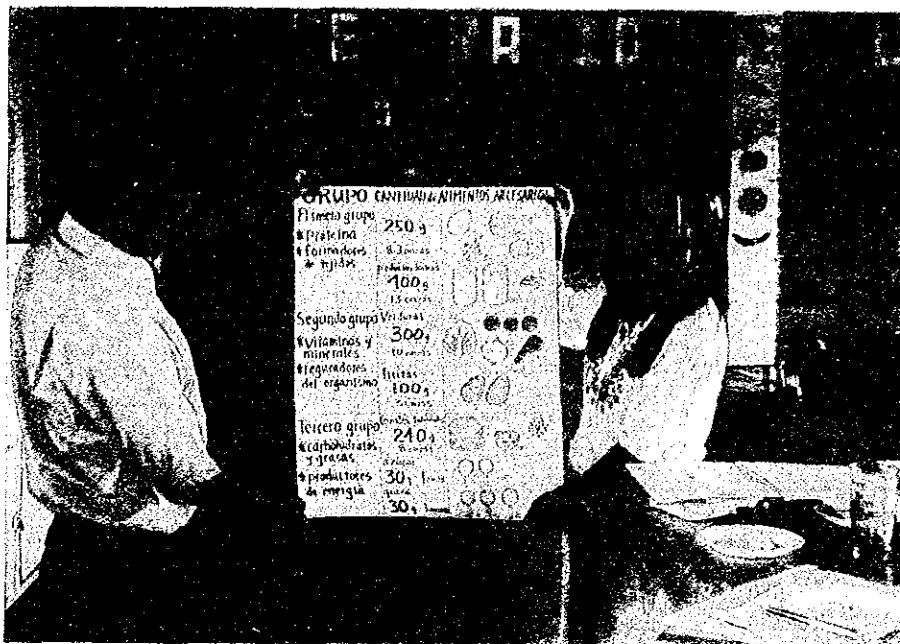


マクラメ編みベルト製作指導中



マクラメ編みベルト製作指導中





コンサロ・パラオナ・ハボン技術中高校（フランシスコ・モラサン県ボルベニール市）  
 手作りの栄養指導教材（調理室にて） 割石貴美子隊員（131 家政）



山崎陽子隊員（132 野菜） 農場の小屋内にて  
 副校長ギエルモ先生（赤Tシャツにジーンズ姿）の案内で

Ⅲ. パナマ共和国



協同組合庁（IACCOOP）にて  
長官Mr. Alberto E. Tello G.、副長官、調整員Ms. Yadira Spencer 方との懇談会



中沢香代隊員（123 食品加工）活動現場  
日本の援助で購入した冷凍冷蔵庫の前で  
ソーセージ加工製造許可取得のため申請中

グアテマラ国 ボランティア派遣情報一覧

平成14年9月1日現在

任地 番号	No.	隊次	隊員氏名	性別	隊員氏名(英)	職種	派遣期間～	～派遣期間	任地	配属先省庁	活動先
1	1	シニア	河濱 さつき	女	Miss. Satsu KAWASUMI	小学校教諭	2002.03.07	2004.03.06	グアテマラシティ	教育省	教育省(本省)
	2	11/3	小川 美奈	女	Miss. Mina OGAWA	電子機器	2000.04.03	2002.11.02	グアテマラシティ	厚生省	農材調達部工学メンテナンス局
	3	12/2	青木 宣親	男	Mr. Nobuchika AOKI	コンピュータ技術	2000.12.05	2002.12.04	グアテマラシティ	職業訓練庁	職業訓練庁(本庁)
	4	12/2	藤部 栄子	女	Miss. Eiko HATTORI	日本語教師	2000.12.05	2002.12.04	グアテマラシティ	国立サン・カルロス大学	言語センター
	5	12/3	稲垣 康一	男	Mr. Koichi INAGAKI	コンピュータ技術	2001.04.03	2003.04.02	グアテマラシティ	教育省	情報処理局
	6	12/3	河野 季浩	男	Mr. Takahiro KONO	視覚教育	2001.04.03	2003.04.02	グアテマラシティ	国立サン・カルロス大学	建築学部
	7	13/1	佐々木 玲子	女	Miss. Reiko SASAKI	野菜	2001.07.10	2003.07.09	グアテマラシティ	国立サン・カルロス大学	農学部
	8	14/1	荒木 祐二	男	Mr. Yuji ARAKI	植物学	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラシティ	国立サン・カルロス大学	付属植物園
	9	14/1	坂本 千香	女	Miss. Chiharu SAKAMOTO	環境教育	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラシティ	国立公園管理委員会	野生生物救援保護協会
	10	14/1	加藤 季秋	男	Mr. Toshiaki KATO	自動車整備	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラシティ	国家市民警察	自動車整備工場
	11	14/1	杉森 陽子	女	Miss. Yoko SUGIMORI	日本語教師	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラシティ	国立サン・カルロス大学	言語センター
2	12	12/2	小川 絵美	女	Miss. Emi OGAWA	小学校教諭	2000.12.05	2002.12.04	チカラコ県チカラコ市	教育省	チマルテナンコ県事務所
	13	13/3	笠置 克人	男	Mr. Katsuto KASAGI	植林	2002.04.08	2004.04.07	チカラコ県チカラコ市	林野庁	チマルテナンコ県事務所
	14	13/3	城下 英二	男	Mr. Eiji SHIROSHITA	植林	2002.04.08	2004.04.07	チカラコ県チカラコ市	農林食糧省	AIBES
3	15	12/2	清水 真理子	女	Miss. Mariko SHIMIZU	保健師	2000.12.05	2002.12.04	チカラコ県チカラコ市	厚生省	アクアラ協会
	16	13/1	添畑 裕介	男	Mr. Yusuke URUSHIBATA	野菜	2001.07.10	2003.07.09	チカラコ県チカラコ市	厚生省	アクアラ協会
	17	13/2	下村 京子	女	Miss. Kyouko SHIMOMURA	栄養士	2001.12.04	2003.12.03	チカラコ県チカラコ市	厚生省	アクアラ協会
4	18	12/2	内河 友規	男	Mr. Tomonori Uchikawa	村落開発普及員	2000.12.05	2002.12.04	チカラコ県チカラコ市	厚生省	厚カスレン公衆衛生協会
5	19	11/3	岩本 康一	男	Mr. Koichi IWAMOTO	上下水道	2000.04.03	2002.11.02	バルベカ県チカラコ市	経済企画庁	プルーボ・ア
	20	13/2	宮内 謙太	男	Mr. Kenta MIYAUCHI	コンピュータ技術	2001.12.04	2003.12.03	バルベカ県チカラコ市	厚生省	国立サラマ病院
	21	13/3	中辻 宏治	男	Mr. Koji NAKATSUJI	感染症対策	2002.04.08	2004.04.07	バルベカ県チカラコ市	厚生省	サラマ保健管区
6	22	12/3	秋元 綾子	女	Miss. Ayako AKIMOTO	栄養士	2001.04.03	2003.04.02	バルベカ県チカラコ市	厚生省	加ヘラ保健協会
	23	13/3	岡山 英毅	男	Mr. Hideki SONOYAMA	村落開発普及員	2002.04.08	2004.04.07	バルベカ県チカラコ市	経済企画庁	ブルラ市役所
8	24	14/1	横溝 薫	女	Miss. Kaoru YOKOMIZO	栄養士	2002.07.18	2004.07.17	バルベカ県チカラコ市	経済企画庁	ブルラ市役所
	25	13/1	関 雅仁	男	Mr. Masahito SEKI	土木設計	2001.07.10	2003.07.09	チカラコ県チカラコ市	経済企画庁	北部第二事務所
	26	13/3	河井 優美	女	Miss. Yumi KAWAI	食品加工	2002.04.08	2004.04.07	チカラコ県チカラコ市	職業訓練庁	コパン
	27	13/3	馬場 武志	男	Mr. Takeshi BAMBA	感染症対策	2002.04.08	2004.04.07	チカラコ県チカラコ市	厚生省	コパン保健管区
9	28	14/1	吉川 幹雄	男	Mr. Mikio FURUKAWA	養蜂	2002.07.18	2004.07.17	チカラコ県チカラコ市	教育省	特殊教育学校(リハビリセンター)
	29	12/2	渡辺 千晴	女	Miss. Chiharu SHIBUTA	家畜飼育	2000.12.05	2002.12.04	ソロラ県ソロラ市	農林食糧省	ソロラ農業学校
	30	12/2	柴崎 麻由子	女	Miss. Mayuko SHIBAZAKI	環境教育	2000.12.05	2002.12.04	ソロラ県ソロラ市	教育省	ソロラ県事務所
	31	13/2	竹田 基	男	Mr. Motoki TAKEDA	医療機器	2001.12.04	2003.12.03	ソロラ県ソロラ市	厚生省	国立ソロラ病院
	32	振興	白石 光代	女	Miss. Mitsuyo SHIRAIISHI	花卉	2002.04.04	2002.10.03	ソロラ県ソロラ市	農林食糧省	ソロラ農業学校
	33	14/1	鈴村 智太郎	男	Mr. Tomotaro SUZUMURA	小学校教諭	2002.07.18	2004.07.17	ソロラ県ソロラ市	教育省	ソロラ県事務所
10	34	14/1	須江 敏光	男	Mr. Toshimitsu SUE	花卉	2002.07.18	2004.07.17	ソロラ県ソロラ市	農林食糧省	ソロラ農業学校
	35	14/1	河内 毅	男	Mr. Takeshi KAWAUCHI	森林経営	2002.07.18	2004.07.17	チカラコ県チカラコ市	林野庁	トトニカパン県事務所
	36	12/1	松本 直	男	Mr. Tadashi MATSUMOTO	食用作物	2000.07.10	2002.12.09	チカラコ県チカラコ市	農林食糧省	第6試験場
11	37	12/3	杉野 圭子	女	Miss. Keiko SUGINO	ソートのカー	2001.04.03	2003.04.02	チカラコ県チカラコ市	社会福祉庁	青少年保護育成センター
	38	14/1	園師 由佳理	女	Miss. Yukari ZUSHI	小学校教諭	2002.07.18	2004.07.17	チカラコ県チカラコ市	教育省	ケソエルテナンコ県事務所
12	39	14/1	今井 陽子	女	Miss. Yoko IMAI	理数科教師	2002.07.18	2004.07.17	チカラコ県チカラコ市	教育省	サン・マルコス県事務所
13	40	13/2	肥田木 玲子	女	Miss. Reiko HIDAOKI	ブドウ栽培	2001.12.04	2003.12.03	チカラコ県チカラコ市	教育省	ウエウエテナンコ県事務所

グアテマラ国 ボランティア派遣情報一覧

平成14年9月1日現在

任地 番号	No.	隊次	隊員氏名	性別	隊員氏名(英)	職種	派遣期間～	～派遣期間	任地	配属先省庁	活動先
14	41	13/2	佐野 友美	女	Miss. Tomomi SANO	栄養士	2001.12.04	2003.12.03	グアテマラ国「県」アポタシ市	教育省	マヤンセ共同体学校
15	42	14/1	清水 美帆	女	Miss. Miho SHIMIZU	家畜飼育	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラ国「県」アポタシ市	農牧食糧省	ハカルテナンゴ農業学校
16	43	12/3	宮野 智希	男	Mr. Tomoki MIYANO	建築	2001.04.03	2003.04.02	グアテマラ国「県」アポタシ市	エル・アシントン市役所	エル・アシントン市役所
17	44	14/1	梶川 高志	男	Mr. Takashi TSUNAGAWA	小学校教諭	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラ国「県」アポタシ市	教育省	スチテベケス県事務所
18	45	13/3	阿部 直子	女	Miss. Naoko ABE	感染症対策	2002.04.08	2004.04.07	グアテマラ国「県」アポタシ市	厚生省	ハラバ保健管区
19	46	12/3	南野 靖博	男	Mr. Yasuhiro MINAMINO	養殖	2001.04.03	2003.04.02	グアテマラ国「県」アポタシ市	国立サン・カルロス大学	水産学部
20	47	12/2	徳岡 利子	女	Miss. Toshiko GOMA	婦人子供服	2000.12.05	2002.12.04	グアテマラ国「県」アポタシ市	経済企画庁	エル・プログレソ市役所
	48	13/特	滝川 英子	女	Miss. Eiko YODOGAWA	婦人子供服	2002.03.11	2004.03.10	グアテマラ国「県」アポタシ市	経済企画庁	エル・プログレソ市役所
21	49	14/1	村上 朋子	女	Miss. Tomoko MURAKAMI	家政	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラ国「県」アポタシ市	教育省	フティアル県事務所
22	50	13/3	秋山 剛	男	Mr. Takeshi AKIYAMA	感染症対策	2002.04.08	2004.04.07	グアテマラ国「県」アポタシ市	厚生省	エル・プログレソ保健管区
23	51	11/3	野並 文朗	男	Mr. Takero NONAMI	感染症対策	2000.04.03	2002.12.02	グアテマラ国「県」アポタシ市	厚生省	サカバ保健管区
	52	12/2	奈良 精悟	男	Mr. Akinori NARA	ソシアルワーカー	2000.12.05	2002.12.04	グアテマラ国「県」アポタシ市	社会福祉庁	青少年保護養育センター
24	53	13/1	高杉 健一郎	男	Mr. Kenichiro TAKASUGI	水泳	2001.07.10	2003.07.09	グアテマラ国「県」アポタシ市	体育協会	水泳連盟
	54	14/1	田尻 紀子	女	Miss. Noriko TAJIRI	小学校教諭	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラ国「県」アポタシ市	教育省	イサバル県事務所
25	55	12/2	伊藤 由加里	女	Miss. Yukari ITO	保健師	2000.12.05	2002.12.04	グアテマラ国「県」アポタシ市	厚生省	プロ・ベテン
	56	12/2	藤田 英之	男	Mr. Hideyuki FUJITA	美術	2001.02.01	2002.12.04	グアテマラ国「県」アポタシ市	教育省	ベテン県事務所
	57	14/1	辻松 淳二	男	Mr. Junji TSUJIMATSU	獣医師	2002.07.18	2004.07.17	グアテマラ国「県」アポタシ市	国立公園管理委員会	野生動物救援協議会

\* 派遣期間の定義は「本邦出発日から本邦帰国日までの期間」であるが、平成14年度10日以前に出発した青年海外協力隊員については、当該欄に「本邦出発時から任国出発日までの期間」を記入している。これは、法裁(青)第3-25033号(平成14年3月25日付)により、活動期間の定義が変更されたことに伴うものである。





ホンデュラス国 要員派遣情報一覧 (青年海外協力隊)

平成14年10月1日現在

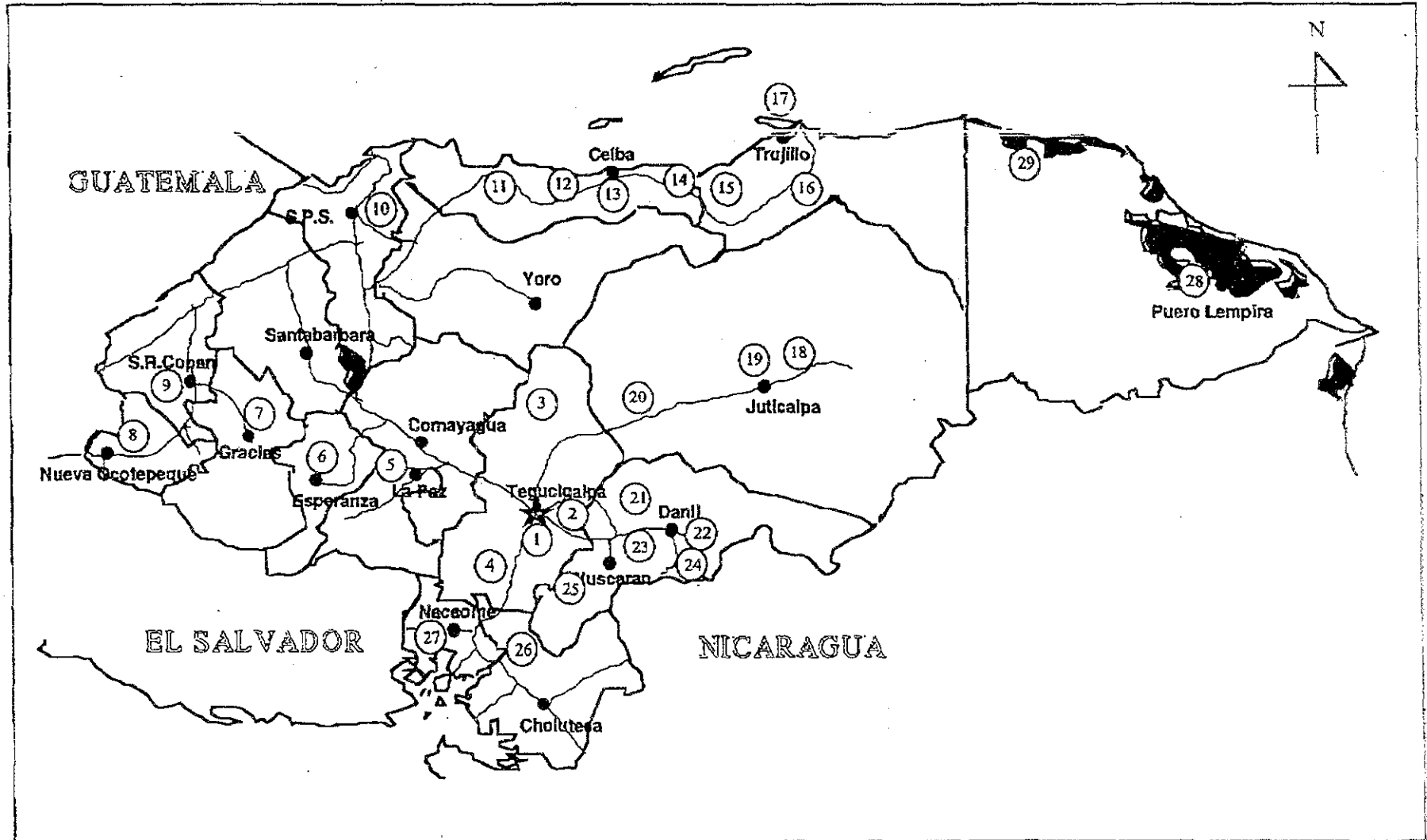
任地番号	No.	階次	隊員氏名	性別	隊員氏名(英)	職種	在期～	～任期	任地	配属先省庁	活動先
10	1	121	島名 みゆき	F	Shimena Miyuki	小学校教諭	2000.8.8	2002.12.6	サン・ペドロ・スーラ/コルテス県	文部省	コルテス県教育委員会
22	2	121	菅川 梨子	F	Minakawa Junko	小学校教諭	2000.7.10	2003.7.9	ダンリ/エル・パライス県	文部省	エル・パライス県教育委員会
10	3	122	阿部 暁則	M	Abe Masaaki	電気技師	2000.12.4	2002.12.3	サン・ペドロ・スーラ/コルテス県	文部省	北部電気通信局
16	4	122	若橋 剛治	M	Wakashi Eiji	数学教師	2000.12.4	2002.12.3	トコア/コロム県	文部省	ラモン・ロサ中高校
23	5	122	大内 公貴	M	Ouchi Kimataka	農産物加工	2000.12.4	2002.12.3	ハカレアバ/エル・パライス県	文部省	レイナルド・ウリアス・ロベス農業学校
10	6	122	大田 健	M	Ota Ken	冷暖機修・空調	2000.12.4	2002.12.3	サン・ペドロ・スーラ/コルテス県	文部省	サンペドラーノ技術訓練校
29	7	122	黒崎 弘平	M	Kurosaki Kohhei	茶室飼育	2000.12.4	2002.12.3	ベレン/グラシアス・ア・ディオス県	NGO	モスキティア開発財団ベレン事務所
8	8	122	飯田 あゆみ	F	Iida Ayumi	小学校教諭	2000.12.4	2002.12.3	ヌエバ・オコテペグ/オコテペグ県	文部省	オコテペグ県教育委員会
11	9	122	古賀 豊彦	F	Koga Ryo	看護師	2000.12.4	2002.12.3	テロ/アトランティダ県	厚生省	第6衛生地区テラ病院
1	10	122	相馬 紀江	F	Soma Norie	理科教師	2000.12.4	2002.12.3	テグシガルバ/フランシスコ・モラサン県	文部省	国立教育実践研究所
9	1	122	高野 裕子	F	Takano Yuko	幼稚園教諭	2000.12.4	2002.12.3	サンク・ロウ・デ・コパン/コパン県	文部省	コパン県教育委員会
28	12	122	人見 真理	F	Hitomi Mari	看護師	2000.12.4	2002.12.3	エル・パライス/グラシアス・ア・ディオス県	厚生省	第8衛生地区フェルト・レンビーラ病院
9	13	122	松岡 香	F	Matsuoka Kaori	幼稚園教諭	2000.12.4	2002.12.3	ヌエバ・オコテペグ/オコテペグ県	文部省	オコテペグ県教育委員会
13	14	122	奥 優子	F	Mukai Yuko	幼稚園教諭	2000.12.4	2002.12.3	セイバ/アトランティダ県	文部省	アトランティダ県教育委員会
1	15	123	大塚 浩司	M	Ofuku Koji	電気設備	2001.4.2	2003.4.1	テグシガルバ/フランシスコ・モラサン県	ホンデュラス電力公社	レオナ技術研修センター
6	16	123	鈴木 一也	M	Suzuki Kazuya	市場調査	2001.4.2	2003.4.1	エスペランサ/インディオラ県	農林水産省	ホンデュラス農業研究財団
1	17	123	中島 貴之	M	Nakajima Takayuki	村沼開発普及員	2001.4.2	2003.4.1	テグシガルバ/フランシスコ・モラサン県	農林水産省	国家持続的農村開発基金
17	18	123	阿部 小百合	F	Abe Sayuri	食品加工	2001.4.2	2003.4.1	トルヒージョ/コロム県	農林水産省	水産増大西部隊支店
1	19	123	奥合 瑠子	F	Ochiai Atsuko	医療相談	2001.4.2	2003.4.1	テグシガルバ/フランシスコ・モラサン県	厚生省	保健局
27	20	123	川上 真子	F	Kawakami Takako	小学校教諭	2001.4.2	2003.4.1	ナカオメ/バジュエ県	文部省	ナカオメ地区教育委員会
19	21	123	髙橋 ひとみ	F	Saito Hitomi	小学校教諭	2001.4.2	2003.4.1	フティカルバ/オランチョ県	文部省	オランチョ県教育委員会
4	22	123	筒 優子	F	Tsubaki Yuko	小学校教諭	2001.4.2	2003.4.1	サバナグランデ/フランシスコ・モラサン県	文部省	教育総局(サバナグランデ地区教育委員会)
17	23	123	津賀崎 亜佐	F	Tsurusaki Asa	音楽	2001.4.2	2003.4.1	トルヒージョ/コロム県	文部省	技術研修No.16小学校
7	24	123	内藤 千帆	F	Naito Chiho	小学校教諭	2001.4.2	2003.4.1	グラシアス/レンビーラ県	文部省	レンビーラ県教育委員会
12	25	123	水本 みどり	F	Mizuki Midori	家政	2001.4.2	2003.4.1	サン・フランシスコ/アトランティダ県	文部省	サン・フランシスコ・デ・アシス技術中高校
17	26	131	五十嵐 雅典	M	Igarashi Yoshinori	新聞	2001.7.9	2003.7.8	トルヒージョ/コロム県	文部省	コロム県トルヒージョ市役所
18	27	131	久保 健	M	Kubo Makoto	植栽培養	2001.7.9	2003.7.8	カタクマス/オランチョ県	農林水産省	国立農業大学校
25	28	131	多田 新之介	M	Tada Shinnosuke	小学校教諭	2001.7.9	2003.7.8	グイノベ/エル・パライス県	文部省	教育総局(グイノベ地区教育委員会)
1	29	131	中村 光輝	M	Nakamura Mitsutenu	農園	2001.7.9	2003.7.8	テグシガルバ/フランシスコ・モラサン県	NGO	フランシスコ・買人能力開発協会
4	30	131	森 正樹	M	Mori Masaki	小学校教諭	2001.7.9	2003.7.8	サバナグランデ/フランシスコ・モラサン県	文部省	教育総局(サバナグランデ地区教育委員会)
22	31	131	宇都宮 隆子	F	Utsunomiya Yoko	小学校教諭	2001.7.9	2003.7.8	ダンリ/エル・パライス県	文部省	エル・パライス県教育委員会
8	32	131	奥平 保子	F	Okuhira Yasuko	小学校教諭	2001.7.9	2003.7.8	ヌエバ・オコテペグ/オコテペグ県	文部省	オコテペグ県教育委員会
17	33	131	小倉 一重	F	Ogura Kazue	小学校教諭	2001.7.9	2003.7.8	トルヒージョ/コロム県	文部省	コロム県教育委員会
21	34	131	加藤 生子	F	Kato Keiko	家政	2001.7.9	2003.7.8	テウパセンティ/エル・パライス県	文部省	6・デ・ビルリア技術中高校
16	35	131	岩城 晴江	F	Kimizuka Hare	専攻科	2001.7.9	2003.7.8	トコア/コロム県	文部省	フロイラン・トゥルシオス技術中高校
21	36	131	虎頭 恭子	F	Koto Kyoko	看護師	2001.7.9	2003.7.8	テウパセンティ/エル・パライス県	厚生省	第1衛生地区テウパセンティ保健所
17	37	131	高橋 佐穂美	F	Takahashi Satomi	幼稚園教諭	2001.7.9	2003.7.8	トルヒージョ/コロム県	文部省	コロム県教育委員会

平成14年10月1日現在

任地番号	No.	階次	原属氏名	性別	原属氏名(英)	職種	任期～	～任期	任地	所属先番号	活動先
5	38	131	内内 ゆき	♀	Yokuuchi Yuki	家庭	2001.7.9	2003.7.8	ジャルメラノ・ボス渠	文部省	ドロチオヴァレラ・メヒ ア技術中高校
17	39	131	西野 紀子	♀	Nishino Noriko	養護師	2001.7.9	2003.7.8	トルヒーゴ/コロソ渠	厚生省	サルバドール・バルデス 渠
18	40	131	松井 涼子	♀	Mataui Ryoko	家政	2001.7.9	2003.7.8	カタカマス/オランチャ 渠	文部省	18・ア・バロン/技術中 高校
17	41	131	万代 ユミ	♀	Mandai Yumi	体育	2001.7.9	2003.7.8	トルヒーゴ/コロソ渠	文部省	コロソ渠教育委員会
1	42	131	毛利 千春	♀	Mouri Chiharu	幼稚園教諭	2001.7.9	2003.7.8	アグシガルバ/フランシ スコ・モラサン渠	文部省	フランシスコ・モラサン 渠教育委員会
22	43	131	山崎 友紀子	♀	Yamazaki Yukiko	小学校教諭	2001.7.9	2003.7.8	ダンリ/エル・バライソ 渠	文部省	教育技術開発校レノバ ン小学校
24	44	131	和田 菜子	♀	Wada Naoko	音楽	2001.7.9	2003.7.8	エル・バライソ/エル・ バライソ渠	文部省	フランシスコ・モラサン 小学校
3	45	131	新石 貴美子	♀	Wariishi Kimiko	家政	2001.12.3	2003.12.2	エル・バライソ/エル・ バライソ渠	文部省	ゴンサロ・バラオーナ技 術中学校
17	46	132	鈴木 敏春	♂	Suzuki Toshiharu	家庭実習	2001.12.3	2003.12.2	トルヒーゴ/コロソ渠		コロソ渠トルヒーゴ市 役所
15	47	132	中山 恒平	♂	Nakayama Kohel	小学校教諭	2001.12.3	2003.12.2	ソナグロ/コロソ渠	文部省	コロソ渠教育委員会
14	48	132	富田 真	♂	Yoshida Tamotsu	楽器	2001.12.3	2003.12.2	フティアル/アトラン チャ渠	文部省	ヴェネズエラ技術中高校
1	49	132	阿部 千絵	♀	Abe Chieya	作業療法士	2001.12.3	2003.12.2	アグシガルバ/フランシ スコ・モラサン渠	厚生省	国立サン・フェリッパ 渠
1	50	132	石塚 美子	♀	Ishizuka Tomoko	小学校教諭	2001.12.3	2003.12.2	アグシガルバ/フランシ スコ・モラサン渠	文部省	国立教育実践研究所
4	51	132	楠 薫子	♀	Kusunoki Naoko	村医開発普及員	2001.12.3	2003.12.2	サバナグランデ/フラン シスコ・モラサン渠	文部省	教育開発(サバナグラン デ地区教育委員会)
6	52	132	藤原 由紀	♀	Fujihara Yuki	婦人学検定	2001.12.3	2003.12.2	エスبرانサ/インティ ブカ渠	文化・ス ポーツ省	インティブカ先住民民族 芸術開発校
3	59	132	山崎 陽子	♀	Yamazaki Yoko	音楽	2001.12.3	2003.12.2	エル・バライソ/エル・ バライソ渠	文部省	ゴンサロ・バラオーナ技 術中学校
6	54	132	福田 小百合	♀	Fukuda Sayuri	木工	2001.12.3	2003.12.2	エスبرانサ/インティ ブカ渠	文化・ス ポーツ省	インティブカ先住民民族 芸術開発校
4	55	133	岩井 亨	♂	Iwai Huru	市場調査	2002.4.8	2004.4.7	サバナグランデ/フラン シスコ・モラサン渠	農林水産省	国庫特約農村開発基金
20	56	133	山口 佳史	♂	Yamaguchi Yoshifumi	村落開発普及員	2002.4.8	2004.4.7	コンコルディア/オラン チャ渠	厚生省	第7地域第1地区保健所
25	57	133	甘利 真子	♀	Amari Naoko	幼稚園教諭	2002.4.8	2004.4.7	グイノベ/エル・バライ ソ渠	文部省	教育開発(グイノベ地区 教育委員会)
25	58	133	上野 美	♀	Ueno Jun	村落開発普及員	2002.4.8	2004.4.7	グイノベ/エル・バライ ソ渠	文部省	教育開発(グイノベ地区 教育委員会)
2	59	133	郡司 朋雄	♂	Gunji Tomoe	皮革工芸	2002.4.8	2004.4.7	バグエ/エル・バライ ソ/フランシスコ・モラ サン渠	農林水産省	国立職業訓練所バジェ ・チ・アンヘル渠
4	60	133	近藤 朋子	♀	Kondo Tomoko	保健師	2002.4.8	2004.4.7	サバナグランデ/フラン シスコ・モラサン渠	文部省	教育開発(サバナグラン デ地区教育委員会)
9	61	133	鈴木 菜穂	♀	Suzuki Naho	村落開発普及員	2002.4.8	2004.4.7	ワンタ・ロサ・デ・コ パン/コパン渠	農林水産省	国庫特約農村開発基金
4	62	133	山崎 真澄美	♀	Yamazaki Masumi	幼稚園教諭	2002.4.8	2004.4.7	サバナグランデ/フラン シスコ・モラサン渠	文部省	教育開発(サバナグラン デ地区教育委員会)
17	63	141	大橋 明成	♂	Ohashi Akishiro	小学校教諭	2002.7.18	2004.3.17	トルヒーゴ/コロソ渠	文部省	コロソ渠教育委員会
26	64	141	早川 直澄	♂	Hayakawa Naozumi	電気科	2002.7.18	2004.7.17	ベスピーノ/チョルチ カ渠	文部省	マテオ・モリーナ技術中 高校
25	65	141	尾波 一成	♂	Mawatari Kazunori	小学校教諭	2002.7.18	2004.3.17	グイノベ/エル・バライ ソ渠	文部省	教育開発(グイノベ地区 教育委員会)
8	66	141	生田 佳澄	♀	Ikuta Kasumi	小学校教諭	2002.7.18	2004.3.17	ヨエバ・オコチベケ/オ コチベケ渠	文部省	オコチベケ渠教育委員会
25	67	141	伊藤 美保	♀	Ito Miho	小学校教諭	2002.7.18	2004.3.17	グイノベ/エル・バライ ソ渠	文部省	教育開発(グイノベ地区 教育委員会)
19	68	141	大城 陽子	♀	Oshiro Yoko	農産物加工	2002.7.18	2004.7.17	フティアル/オラン チャ渠	NGO	ホンデユラス統合地域新 農協
22	69	141	北野 有美	♀	Kitano Yumi	小学校教諭	2002.7.18	2004.7.17	ダンリ/エル・バライソ 渠	文部省	エル・バライソ渠教育委 員会
10	70	141	野間 香代	♀	Nonomi Kayo	体育	2002.7.18	2004.3.17	サン・ペドロ・スーラ/ コルテス渠	文部省	ホセ・トリニダ・レジェ ス中高校
22	71	141	鳥嶋 早苗	♀	Baba Sanae	小学校教諭	2002.7.18	2004.3.17	ダンリ/エル・バライソ 渠	文部省	エル・バライソ渠教育委 員会
15	72	141	藤井田 英代	♀	Fujikida Miyo	小学校教諭	2002.7.18	2004.3.17	ソナグロ/コロソ渠	文部省	コルテス渠教育委員会
8	73	141	水野 あゆみ	♀	Mizuno Ayumi	小学校教諭	2002.9.18	2004.9.17	ヨエバ・オコチベケ/オ コチベケ渠	文部省	オコチベケ渠教育委員会

ホンデュラス国 隊員配置図

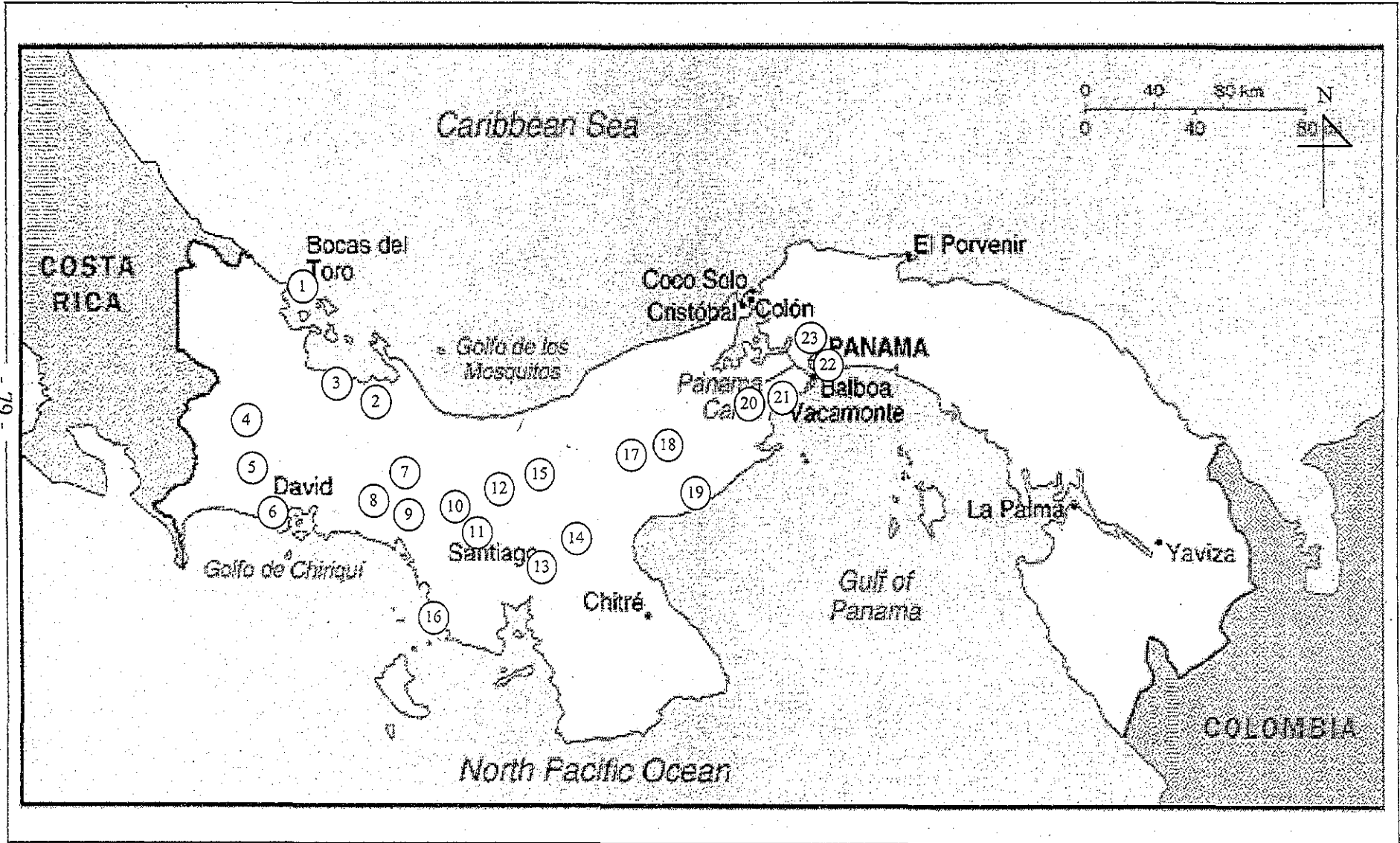
平成14年10月1日現在



パナマ国 ボランティア派遣情報一覧

平成14年9月1日現在

任地番号	No.	階次	職員氏名	性別	職員氏名(英)	職種/派遣科目	任期～	～任期	任地	配属先官庁	活動先
1	1	13-1	箱山 幸治	Mr.	Koji HAKOYAMA	村落開発普及員	2001.7.9	2003.7.8	ボカステルトロ	環境庁	ボカステルトロ県ボカステルトロ事務所
2	2	13-3	松崎 健太	Mr.	Kenta MATSUZAKI	村落開発普及員	2002.4.8	2004.4.7	ビシーラ	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
3	3	13-3	山田 和俊	Mr.	Kazutoshi YAMADA	野菜	2002.4.8	2004.4.7	チリキ・グランデ	職業訓練庁	チリキ・グランデセンター
4	4	13-2	高麗 正紀	Mr.	Masanori KOMA	環境教育	2001.12.3	2003.12.2	ボルカン	環境庁	チリキ県ボルカン・バルー国立公園事務所
5	5	12-3	中沢 香代	Ms.	Kayo NAKAZAWA	食品加工	2001.4.2	2003.4.1	サン・ビセンテ	協同組合庁	サン・ビセンテ協同組合
6	6	12-2	小澤 英之	Mr.	Hideyuki OZAWA	きのこ	2000.12.5	2002.12.4	ダビッド	チリキ自治大学	天然資源研究室
7	7	12-3	齋藤 徹茂	Mr.	Tetsushige SAITO	理科教師	2001.4.2	2003.4.1	ダビッド	教育省	ダビッド高校
8	8	SV	森 登	Mr.	Noboru MORI	飼料科学	2001.4.3	2003.4.2	ダビッド	農牧研究所	グアラカ研究所
9	9	SV	山田 芳昭	Mr.	Yoshiaki YAMADA	害虫防除	2001.4.3	2003.4.2	ダビッド	協同組合庁	ダビッド事務所
10	10	SV	北角 哲	Mr.	Akira KITAZUMI	地域性伝染病情報システム構築	2002.4.1	2003.4.1	ダビッド	チリキ自治大学	
7	11	13-2	中條 淑恵	Ms.	Yoshie NAKAJYO	漢教師	2001.12.3	2003.12.2	アト・チャミ	保健省	アト・チャミ診療所
12	12	14-1	遠井 大介	Mr.	Daisuke TOI	村落開発普及員	2002.7.15	2004.7.14	アト・チャミ	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
8	13	14-1	西村 佳徳	Mr.	Yoshinori NISHIMURA	村落開発普及員	2002.7.15	2004.7.14	アト・コロトゥ	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
9	14	H12年度シニア	羽根 秀仁	Mr.	Hidenori HAJIKA	プログラムオフィサー	2000.7.5	2003.2.4	サン・フェリックス	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
10	15	14-1	狩口 聡	Mr.	Satoshi SHOGUCHI	村落開発普及員	2002.7.15	2004.7.14	ソロイ	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
16	16	14-1	河合 千秋	Ms.	Chiaki KAWAI	手工芸	2002.7.15	2004.7.14	ソロイ	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
11	17	14-1	加藤 麻子	Ms.	Asako KATO	村落開発普及員	2002.7.15	2004.7.14	アルト・カバジェロ	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
12	18	13-3	日暮 良治	Mr.	Ryoji HIGURASHI	村落開発普及員	2002.4.8	2004.4.7	ブエノス・アイレス	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
19	19	14-1	三原 大輝	Mr.	Tomoteru MIHARA	稲作	2002.7.15	2004.7.14	ブエノス・アイレス	大統領府社会投資基金	プロジェクト・ノベ・ブグレ
13	20	14-1	武田 高宏	Mr.	Takahiro TAKEEDA	理数科教師	2002.7.15	2004.7.14	サンチアゴ	教育省	ウラカ高校
21	21	14-1	杉浦 梨絵	Ms.	Rie SUGIURA	数学教師	2002.7.15	2004.7.14	サンチアゴ	教育省	ウラカ高校
22	22	SV	矢野 廉二	Mr.	Koji YANO	経営管理及び販売	2001.4.3	2003.4.2	サンチアゴ	協同組合庁	
23	23	SV	飯島 良彦	Mr.	Yoshihiko WAKURAMA	灌漑施設維持管理	2001.10.22	2002.10.22	サンチアゴ	農牧開発省	
14	24	H13年度一般短期	濱田 成功	Mr.	Mchinori HAMADA	家畜飼育	2002.3.8	2002.9.4	ディビサ	農牧開発省	国立農業学校
15	25	14-1	北 仁志	Mr.	Hitoshi KITA	野菜	2002.7.15	2004.7.14	ナランハル	国民福祉省	ベラグアス県支部
16	26	12-2	森 あい子	Ms.	Aiko MORI	環境教育	2000.12.5	2002.12.4	ビスバエ	環境庁	ベラグアス県支部コイバ国立公園事務所
17	27	14-1	野村 水穂子	Ms.	Mihoko NOMURA	果樹	2002.7.15	2004.7.14	エル・コベ	環境庁	コクレ県支部オールド・トリホス国立公園事務所
18	28	14-1	長本 聖史	Mr.	Kiyofumi NAGAMOTO	稲作	2002.7.15	2004.7.14	トアブレ	農牧開発省	コクレ県支部トアブレ事務所
19	29	13-1	高橋 弘一郎	Mr.	Koichiro TAKAHASHI	漁業生産	2001.7.9	2003.7.8	アントン	協同組合庁	アントン漁業協同組合
20	30	SV	村松 匡宏	Mr.	Kunihiro MURAMATSU	環境汚染対策	2002.4.1	2004.3.31	チョレラ	パナマ工科大学	チョレラ分校
21	31	12-1	福田 耕平	Mr.	Kohei FUKUDA	養殖	2000.7.10	2002.9.10	バカモンテ	農牧開発省	水産局大洋津水産研究所
22	32	12-3	中里 明弘	Mr.	Akihiro NAKAZATO	コンピュータ技術	2001.4.2	2003.4.1	パナマ	特別養護庁	ベクニア本部情報処理課
33	33	13-1	加藤 善彦	Mr.	Yoshihiko KATO	コンピュータ技術	2001.7.9	2003.7.8	パナマ	内務司法省国政警察	アンコン本部情報課
34	34	13-1	原井 登志子	Ms.	Toshiko HARAI	コンピュータ技術	2001.7.9	2003.7.8	パナマ	最高裁判所	計画部統計課
35	35	13-2	神野 滯子	Ms.	Sumiko KANNO	コンピュータ技術	2001.12.3	2003.12.2	パナマ	内務司法省司法技術警察	アンコン本部アーキストーム事務局
36	36	14-1	栗川 真紀	Ms.	Maki JITSUKAWA	視聴覚教育	2002.7.15	2004.7.14	パナマ	特別養護庁	ベクニア本部技術教育部視覚支援
37	37	SV	木下 秀樹	Mr.	Hideki KINOSHITA	電気・電子機器	2000.10.17	2002.10.16	パナマ	職業訓練庁	トクメンセンター
38	38	SV	境産 麻子	Ms.	Keiko KAJIWARA	日本語教師	2000.10.17	2002.10.16	パナマ	パナマ工科大学	
39	39	SV	岩野 登	Mr.	Noboru IWANO	機関科技術	2001.4.3	2003.4.2	パナマ	海運庁	航海学校
40	40	SV	海在丸 保	Mr.	Tamotsu SEZAMARU	島嶼銀行データ処理とネットワーク化	2001.10.22	2002.10.22	パナマ	保健省	
41	41	SV	塩川 信正	Mr.	Nobumasa SHOKAWA	度度審計法指導	2002.4.1	2004.3.31	パナマ	パナマ工科大学	
23	42	14-1	千田 啓	Mr.	Kei CHIDA	家畜飼育	2002.7.15	2004.7.14	チリブレ	アンコン(NGO)	チリブレ農場



JICA